

第四十五回帝國議會 衆議院 鐵道敷設法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十一年一月二十八日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 富安保太郎君

理事 渡邊 祐策君

理事 長峰 與一君

理事 近藤 達見君

理事 正君

青木恆太郎君

牧野 良三君

河相 三郎君

金澤安之助君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 元田 肇君

內務大臣 床次竹二郎君

逓信大臣 野田卯太郎君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道次官 石丸 重美君

鐵道省運輸局長 中川 正左君

鐵道省建設局長 大村 錦太郎君

鐵道省工務局長 岡野 昇君

鐵道省工務局長 高洲 清二君

鐵道省經理局長 別府丑太郎君

鐵道省參事官 木下謙次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法案

○富安委員長 ソレデハ只今カラ開會致シマス

○正木委員 一寸材料ノ事デ御願致シテ置キマス、私ハ

本會ニ於テ、自動車ノ事ニ付テ鐵道大臣ニ御尋ヲ致シタ

ガ、自動車ヲ一臺拵エマスノニ金ガ幾ラ掛リマセウカ、又一

日ニ其自動車ガドレケノ哩ヲ走ルコトガ出來ルカ、一哩走ル

ニ付テハ、ドレ程ノ費用ガ掛ルカト云フコトヲ御調ヲ願ヒタ

イ、或ハ鐵道ノ方デ御調ガゴザイマセウカモ知レマセウカ、既

ニ東京ニモ市街自動車等モゴザイマセウカ、少シ御面倒デ

ハゴザイマセウカレドモ、一ツ御取調下サイマシタナラバ、大

體ガ分ラウト思ヒマス、非常ニ詳シイモノデナクテモ、大體

テ宜シウゴザイマセウカ、成ベク急イデ此案決議スル前

ニ願ヒタイ、ソレニ付テマシテ色々御尋シタイノデアリマス

カ、其前ニ御願致シタイ、之ヲ願シテ置キマス

○富安委員長 植原君ガ順番デゴザイマセウカレドモ、マダ

見エマセウカ、金澤君モ見エマセウカ、渡邊君ハ……

○石丸政府委員 一寸私ハ今ノ事デ疑問ガアリマス

カ、今ノ自動車ノ調査ノ事デアリマスガ、ドウ云フ自動車

ノ御積リデアリマス、鐵道補助機關トシテノ自動車ト云

フノデアリマス、ドウ云フモノデスカ

○正木委員 鐵道ノ代リニナル自動車ノ意味デス、或ハ客

ヲ乘セルノ荷物ヲ積ムノト兩方アリマセウカレドモ、主トシ

テ客ヲ乘セル方デス、或ハ十人、十五人位乗ルノデアリシイ、

或ハ二十人位、詰リ旅客ヲ主トシタモノガ欲シイノデス

○石丸政府委員 是ハ申上ケマス、中々短時日ニ於テハ

正確ノモノハ出來ヌト思ヒマス、唯タ亞米利加アタリテ今使

テ居ルモノハ其儘此方ニ導イテ、其通り眞似ヲスルト云フコト

ハ、ソレハ出來マセウカレドモ、日本デハ第一油ノ事カラ安

定シテ居ラヌ、道路モ出來テ居ラヌ、斯ウ云フコトデ本當ニ

鐵道ノ補助機關 若クハ代用トシテ用井ルニハ、ドウ云フ事

ニシテ宜イカト云フコトガ、非常ナ大議論ダラウト思ヒマス、

鐵道省モ大正二年ニ其時ノ總裁ガ之ヲ調ベルト云フコト

デゴザイマシテ、調ベニ掛リマシタガ、倒頭調ベガ付カヌデシ

マツノデス、ソレハ自動車ノ形狀、其他性質、地方ノ事情、

及道路ノ範圍ガサバリ分リマセヌデ、到頭調ベガ難マラズ

シテ今日ニ至リテ居ルノデス、補助機關トシテハ、多少東京、

或ハ大阪、ア、云フ大都市ニ於テハ、小荷物ヲ運シタリスル

ノニ使ッテ居リマスガ、鐵道ノ代リニ使フ自動車ニ付キマシ

テハ、之ヲ唯タ一夜造リノモノヲ差上ゲルノハ譯ハゴザイマ

セヌカレドモ、ソレデハ何ニモナラヌト思ヒマスガ、如何デスカ

○正木委員 無論愈、實行スル事ニ付テハ、多少ノ御調モ

必要ト思ヒマセウカレドモ、私ガ頂戴致シタイノハ、既ニ東京

デモアノ通りヤッテ居ルガ、アレ等ニ付テ御取調ヲ願ヒタイノ

デス、單簡デアルト思ヒマス、一臺ニ幾ラ掛ッテ、日々ドレケ

ノ費用ガ掛ルカ、或ハソレヲ實行スルニ付テハ、道路ノ關係

等モアリマスカラ、色々御調ニナリツ、アラウト思フ、實際此

事ヲ私ガ考付キマシタノハ、是ハ私ノ想像デモ何デモゴザイ

マセヌ、御承知デゴザイマセウカ、鐵道院ノ木下君ガ主張セ

ラレテ居ル、私ハ木下君ノ御意見ハ御尤デアルト思フ、殊ニ

又私ノ國——土地アタリデゴザイマセウカ、既ニ鐵道ノ道ハ出

來タ、出來タカラ是デ自動車ヲ走レバ直グニ行ケル、單簡

便利デアルト思ハレル、サウ云フ關係ガアル、又外國ノ例ヲ

承デモ皆ナヤッテ居ル、先達參リマシタ「サミュエル、ヒル」ノ如キ

モ之ヲ唱ヘテ居ッテ、之ヲヤラナケレバナラヌト云フコトヲ言

テ居ル、寧ロ之ヲヤルト今ノ鐵道敷設法ニ對シテモ、非常ニ

勢力ヲ得テ來ルト思フ、若シ財源ノ爲ニ造ルコトガ出來ヌ

ナラバ、先ヅ自動車デアレバ僅ナ金デ出來ルト思フ、サウスル

ト地方ノ者モ大ニ満足スルコトヲ思ハレル、若シ此網ノ事ヲ

成ベク早ク實行スル、即チ運輸ノ便ヲ付ケテヤルト云フコト

ナラバ、其邊ヲ一ツ御考下サレタナラバ、私ハ餘程便利ヲ得

ルコトヲ思フ、斯ウ考ヘルカラ此事ニ付テ參考ノ爲ニ御取

調ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考デス

○石丸政府委員 唯タ私ハ敷設法ノ法案ヲ定メマスニ付

テ、御承知ノ如ク出來ルダケ早ク、之ヲ議決致サレタイト思

ヒマスノデスカ、ソレデハ今ノ唯タ一夜造リノ調ベヲシテ差

上デテモソレハ實行上何ニモナラヌト思ヒマスガ、今木下君

ノ話ガアリマシタ大正二年ト云フノハ、即チ其時木下君

ガ非常ニ御主張サレテ、色々ヤラレマシタケレドモ、ドウモ物

ニナラナイ、現ニ其際ニ始メテ居ッタノハ、木下君ノ郷里ニシ

レガ出來テ居ッタノデアリマス、鹿兒島ニモアリマシタ、山陰

ニモアリマシタガ、ドウモ皆ク行カナイ、今日デモ皆ク行キヤ

ウガナイ、雪國ノ如キハ、自動車ト云フモノハ餘程考ヘマセ

ヌト連モ鐵道ノ補助機關トシテモムツカシイノデアル、ソレカ

ラ今普通ノ鐵道ノ補助機關トシテ、自動車ヲ考ヘナイノカ

ト云フコトデスカ、ソレハ始終能ク考ヘテ居ル、補助機關ト

シテ使フコト、鐵道ノ代リニ使フコトハ、連モ日本デハ

油ガ高クテ出來マセヌ、ミスター、ヒルガ非常ニ勸メマシタガ、

是ハモウ少シ日本ノ富ノ程度ガ高クナラナケレバ、サウシテ道

ガ良クナッテ、ソレカラ油ヲ何トカ廉ク取ル工夫ヲ致シマス、又

電力ヲ廉ク使フコト云フコトニ致サヌカレバ、今ノ所デハ引合

ヒマセヌ、御承知ノ如ク吾々ガ乘ッテ東京市ヲ歩イテ居リマ

スモノデモ、一哩三百圓モ掛ルヤウナ譯デアアルノデアリマス、

ソレデハ作ルコトハ作リマスガ、大正三年ニ調ベタモノガ多少

殘デ居リマスガ、ソレヲ差上ゲルコトニ致シマセウカレドモ、

此敷設法ヲ御規定ニナルダケノ參考ニハナルマイト思ヒマス、

如何デゴザイマセウカ、是ハ若シ必要ガアレバ、是ハモウ少

シ實際ノ話ノ出來ルモノヲ調ベサセマシテ、他日正木君ノ

御參考ニ供スルコトニ致シタラ如何デスカ、サウナルト大變

都合ガ好イ、併シ無理ニ一夜作リデ宜シイト云フナラバ、一

ツ作ラセルコトハ作ラセマス、ソレハ大體ノ見込ハ付キマス、

一哩幾ラ、ドウ位ナ金ガ掛ッテト云フコトハ——其代リドウ

モ當テハナリマセヌ、後ニ至ッテコンナ鐵道省ハ調ベヲシタ

ト仰シヤッテモソレハ責任ヲ持チマセヌ

○正木委員 大正二年ト今日トハ十年程違フテ居リマスノデ、私共承ル所デハ大分進シテ参リマシタノデ、色々油ノ儉約ノ方法モ出来テ居ル、又出来マセウト考ヘマス、今石丸次官ノ仰シヤル通り、ソレハ到底出来ナイモノデナイ、頭カラ葬ル問題デナイト思フ、追々世ノ中ガ進歩シテ来マス、自動車ノミナラズ、鐵道省ノ方デモ、航空ノ補助機關ニ依リテ、旅客マデ御支配ニナルコトモ遠カラスト思フ、現ニ外國デモヤッテ居ル、サウ云フ場合デスカラ、是ハ十分進シテ御取調ニナルコトデ、無論必要ト考ヘマス、其前ニ私ハ今御尋シタ事ガ御分リニナラナレバ、大體御分リニナラタケデモ宜ウゴザイマスカラ、御見セ下サイ、ソレカラ詳シイ事ハ後カラ承テ宜シ、大體御出来ニナラタケデモ宜シ、東京ノ市街自動車等ニ御聽キ下サイマスレバ、現在ノ事モ分ルト思ヒマス、私ハ素人デアリマスカラ、分リマセヌケレドモ……

○石丸政府委員 調査致シマセウ、唯タ茲ニ申上ゲテ置キマス、ソレハ私ハ責任ヲ持チマセヌカラ、ドウゾ東京ノ自動車會社ノ調ベ位ナラ、ソレハ出来マセウ、又此自動車ニ付テ十分調ベヲシテ居ラスカト仰シヤルセウ、是ハ始終駐在官ニ向テ斯ウ云フ補助機關ノ事ニ付テハ調ベヲ取テ居リマス、唯今之ヲ採用スルコト云フ調ベニ付テハ、致シテ居ラスノデアリマス

○植原委員 昨日色々御尋致シマセウケレドモ、御尋スレバスル程、私ノ疑問ヲ深クスルノミデアリマス、先ツ差當テ御尋シタ事ハ、本會ニ於テ鐵道大臣ニハ、我黨ノ前川君ガ御尋シタノデアリマスガ、南海鐵道ニ對シ、新ニ一ツノ線路ヲ敷設スルコト云フ計畫ヲ致シテ調査中ダガ、此鐵道網ノ線路ノ中ニマダソレハ記シテナイ、斯ノ如キ種類ノモノガ今現在御取調デアデ、サウシテ又此線路網ノ中ニ加ヘテナイモノガ概略何線位有ルカ、有ルナラバソレヲ伺テ置キタイ

○元田國務大臣 御答致シマス、南海鐵道ノ事ハ前申上ゲタ通りデゴザイマス、其他ノモノハ今調査中デゴザイマス

○植原委員 私人質問ハ其他ノモノ——今御取調ノ其他ノモノハ、概略何線アルカト云フ御尋デゴザイマスカラ、御取調デアル以上、必ズ其他ニ取調ベテ居ルモノガ何線、取調ベテ居ルカ、御分リデアラウト思ヒマスカラ、其他ニ取調ベテ居ルモノガ、即チソレト同一ナル、同一デナクモ同ジヤウナ状態デ、目下取調中デ、未ダ此鐵道網ノ中ニ朱線ヲ以テ記シテナイモノガ、鐵道大臣ガ本會ニ於テ其他數線アルト言ハレタガ、何線位アルカ、ソレヲ明瞭ニ伺ヒタイ

○元田國務大臣 昨日モ確カ申上ゲタト思ヒマスガ、今回鐵道網ヲ選定致シマスニ付キマシテハ、是ダケノ數ヲ調ベ

タカラト云フノデアリマセヌ、全國ニ互フテ多數ノ線路ヲ調ベテ、運輸交通上、連絡其他ノ狀況等ヲ總テ考慮致シマシテ茲ニ選定致シタノガ今日ノ鐵道網デアリマス、調ベテ居ルノガ何程アルカト仰セラレルト、尙ホ鐵道省デハ精々全國ニ互フテ調ベテ居リデアリマスカラシテ、何線ト云フコトハ、政府委員ハ分リテ居ルカ存ジマセヌガ、私トシテハ、ソレハ精々調査致シテ居ルト言フヨリ以上ハ分リマセヌ

○植原委員 本會デ鐵道大臣ノ御説明ニ依レバ、マダサウ云フヤウナモノガ、數線アルト御明言ニシタヤウニ諒解シテ居ル、御取調中デ分ラナイト云フコトデアラナラバ、此鐵道網ナルモノニ載セテアルモノハ、一部ノ調査ヲ了ラタモノデ此後取調ノモノガ何線出来ルカ分ラナイ、斯ウ云フヤウニ諒解スルヨリハ致方ナイ、マア左様ニ諒解致シテ置キマス

○元田國務大臣 少シ違ヒマス、ソレハ違ヒマス

○植原委員 違フナラバ、其數ヲ明白ニドレダケ取調ベテ居ルカ伺ヘルナラバ、伺ヒタイト思ヒマス

○元田國務大臣 唯今ノヤウニ御諒解下サルノハ、私ノ申上ス所ハ違フテ居リマス、私ノ申上ベタノハ、鐵道省ニ於テ十數年來調査ヲシテ居ル線路、多數ノ中カラ、全國ニ互フテ運輸交通ノ連絡、土地ノ交通ノ便宜、地方ノ開發、國防經濟總テノ點ニ考慮ヲ費シマシテ選定致シタノガ、今度ノ鐵道網デアリマス申シタノデアリマス、本會ニ於テ私ハ何本トカ、數線加ヘルト云フコトヲ申シタコトハゴザイマセヌ、今日ノ程度ニ於キマシテハ、之ヲ以テ完全ナリト認メテ居リマス、但シ紀勢鐵道ニ付テハ、今調査中デアラカラ、是ハ後日加ヘルコトニナラウト存ジマス、其他ニ於キマシテモ、今日ハ宜イト思フデモ、將來民間經濟ノ發達ノ有様、或ハ製造工業等ノ方面ニ於テ發達スルヤウナ違ニ依リマシテ、又國防上ニ於テハ、何國ニ對シテ最モ國防ヲ整備シナケレバナラスカト云フコトモ、時ノ狀況デ違ヒマスカラ、其場合ニ至リマシテハ、後年新ニ加ヘル線路モアリマセウ、一線モゴザイマセヌト言ヘバ、誠ニ奇麗ナ答辯デアリマスガ、事實ノ上ニ於テ、他日増スト云フコトガ出テ来ルコトト、既往ノ事績ニ徴シテ信ジマス、併シ今日ニ於テ吾々ノ調査シタ所デハ、是ダケノ鐵道網ヲ建設スレバ先ヅ帝國ニ於テ鐵道ノ計畫ハ立、斯様ニ信ジテ之ヲ出シテ居ルノデアリマス、斯様ニ答ヘタノデアリマス

○植原委員 サウ云フコトデアリマスナラバ、私共本會ノ速記ヲ見ナケレバ明瞭デアリマセヌ、前川君ノ質問ハ斯様デアッタト思ヒマス、床次鐵道院總裁ノ時ニ、南海鐵道ニ沿フ所ノ線路ハ、確ニ鐵道院デアルノダト言明サレタ、其計畫ハ如何ニナラテ居ルカト言フ所ガ、ソレハヤルベキ積リデアル、

斯ウ云フコトヲ元田鐵道大臣モ御言明ニナタコトハ、是ハ私ノ記憶正確デアルト思ヒマス、ソレヲ調ベテ居ル、其外ニモ未ダサウ云フヤウナ調査中ノモノガアル、斯ウ云フ話デゴザイマス、其調査中デアルト御言ヒニナタモノハ、何處ト何處デアアルカト云フコトヲ御尋シタイ、其他產業ノ狀態ガ變化シ國防ガ變化シ、交通機關ノ狀態ガ變化シ、他日必要ナルモノガ起ルト云フ位ハ私モ承知致シテ居リマス、ソレハ承知致シテ居リマスガ、其事ハ暫ク除キテ、床次鐵道院總裁ノ時カラ懸案ニナラテ居ル鐵道ハ、屢々聲明シタ所ノ南海鐵道ニ沿フ所ノ一線、是ハ當然ヤルベキモノデアラガ、今調査中デ加ヘテナイガ、ソレハスル積リデアラ、斯ウ御辯明デアリマス、ソレバカリデナイ、其外ニモマダ、斯ウ云フモノガアル、斯ウ云フ御言明デアリマスカラ、其具體的ノモノニ對シテ私ハ御尋シテ居ルノデアリマスガ、其御積リデア御答ヲ願ヒマス

○元田國務大臣 床次鐵道院總裁ノ答ハ私ハ記憶ヲ致シマセヌ、私ガ前川君ニ向テ紀勢鐵道ノ完成迄ハ調査致シテ、官ガ設立スルコトニナラデアラウ、サウシタ方ガ宜カラウト思フテ居ルト云フコトヲ答ヘタノハ、違ヒゴザイマセヌガ、其他ニモ現ニアルトハ答ヘナイ積リデス、ソレハ先日以來再三御尋ニナタガ、唯今御答申ス通りデアリマシテ、其他ニモ現ニアルトハ私ハ申シマセヌ、調査中デアリマスガ、植原君モ承知シテ居ルト唯今仰シヤルカラ、詳シク述べル必要ハアリマセヌガ、國防其他ノ形勢ノ變化ニ依リテ、追加スルモノガ出テ来ルデアラウ、又此法案中ノ線路以外ニハ出マセヌト申上ゲレバ、洵ニ明確デアリマスガ、ソレハ實際ニ於テハ後日色々變化ヨリシテ、追加スルモノガ又出ルデアリマセウ、サウ云フ時機ハアリマセウガ、今日ノ所デ私共ハ本法ノ線路網ヲ以テ然ルベシト思ヒマス、加之本案ハ昨年帝國議會ニ提出致シマシテ、幸ニ衆議院ニ於キマシテモ大多數ノ是認ヲ受ケ、貴族院ニ回送シタ後ニ會期ガ終了シテ、未了ニ終テ否決サレタノデハナイ、サウデアリマスカラ、今日モ昨年ノ案ヲ是認致シマシテ、茲ニ提案ヲ致シマシタト云フコトヲ申上ゲタノデ、他日絕對的ニ無イカト云フ御尋ニ對シテハ、ソレハ無イト申シタ所ガ、事實ノ上ニ出ルコトモアリマセウ、斯様ニ申上ゲタノデ、速記録ニドウナッテ居ルカ知レマセヌガソレハ私ハ屢々サウ申上ゲテ居リマス

○植原委員 唯今ノ事ハ速記録ヲ調ベテ、私ハ確ニ其外ニモ未ダアル、數線アルト御答ニナタト思ヒマスカラ、調ベテカラ其點ハ更ニ御尋ヲ致シマス、ソコデ……

○元田國務大臣 一寸補テ置キマス、私ハ左様ナコトヲ申シタコトハ無イト考ヘテ居リマス、當委員會ニ於キマシテモ度々其質問ハ出シタガ、私ハ唯今申シタヤウニ申シテ居

リマス、速記録ニ若シ問達テサウ云フコト出テ居リマスナ
ラバ、ソレハ私ノ其當時ノ言ヒ違カ、速記者ノ問達ト云フコ
トハ言明テ致シタクハゴザイマセヌガ、多少ノ言葉尻ノ問達
ハアリマセウ、要ハ今日ノ答辯ヲ以テ私ノ答辯ト御承知ヲ
願ヒタイ

○植原委員 ソコデ私ノ御尋致シタイ事ハ、大正十八年
度迄ハ、殆ど増スベキ所ノ線路ヲ定メテ居ル、其後ノ事デゴ
ザイマス、大正十八年ト申シマシテモ、今カラ七年後ノ事デ
アリマス、而シテ鐵道院ガ、此鐵道網ヲ作ル御調査ノコトヲ
昨日伺テ見ルト云フト、現在ノ其地方ノ人口產物等ヲ根
據トシテ、御取調ニナテ居ルノデアル、斯様ニ私ハ諒解ヲ致
シマシタ、七八年ノ間ニ人口ノ移動モ頗ル激シイト思ヒマス
今日迄ハ家族の工業カラ、機械工業ニ變化スル過渡期デ
アリマスガ、更ニ是ガ機械工業ニ日本ノ工業ガ組織サレ
ナラバ、人口ノ集中スル所モ非常ニ違フシ、人口ノ移動モ極
メテ多カラウト思フ、物產ノ出マスル所ノ狀態モ、餘程變テ
來ルト思ヒマスガ、サウ云フモノヲ根柢トシテ、今カラ更ニ七
八年後ノ事ヲ又三十年モ計畫シテ置ク斯ウ云フヤウナコト
ニナリマスト云フト、此年月ノ間ヲ考慮致シマスレバ、沿岸
ニ於ケル所ノ汽船ノ旅客、貨物ヲ運搬スル所ノ發達ノ程度
モ餘程現狀トハ相違スルト云フコトハ、考慮シナケレバナ
ラヌト思ヒマス、是ハ私ガ申ス迄モナク、英國ニセヨ米國ニセヨ
沿岸ノ貨物、或ハ旅客ノ運搬ガ、汽船ニ依テサレテ居ルコ
トガ非常ニ多ウザイマス、是迄ノ過去十年、汽船ニ致シマ
シタ所ガ、十節カ十五節出ル位ノ船ガ普通デアリマシタガ、
今日歐米諸國ニ於テ沿岸ヲ通ウテ居ル所ノ船デモ、二十
節後渡出ルモノガ普通デアルト思ヒマス、日本ノ航海業ガ
發達シテ、港灣ニ於ケル所ノ陸上ノ接續ト、波止場ニ於ケ
ル所ノ船舶ノ接續トガ完全ニ出來マスルナラバ、又致サナ
ケレバナラヌト思ヒマスガ、今日ノヤウナ日本ノ港灣ニ於ケ
ル所ノ水陸ノ交通機關ノ不完全ナ處ハ、文明國中何處ニ
モアリハシマセヌ、斯様ナモノヲ完全ニ致ス場合ニナルト、日
本ノ如キ斯ウ云フ狭イ國ニ於テハ、隨分水陸ニ依テ旅客
貨物ヲ運送スルコトガ、陸上ニ於ケルヨリハ、容易ニ出來ル
コトガ澤山アルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ大正十八年ト
ナルト、十八年以後ニハドウスルカト云フ位ナ御取調ガナケ
レバ、交通運輸ノ機關ヲ三十年モ先キノ事ヲ調査スル場合
ニ於テ、日本ノ如キ海國ノ殊ニ沿岸線ノ多イ、極メテ水
便——容易ニ運輸出來ル國ニ於テ、是等ノモノヲ十分ニ調
査ヲ遂行致シタ後ニ於テ、陸上ノ施設ヲ致サナケレバナ
ラヌモノト私ハ考慮シマスガ、大正十八年度ニ於テ、日本ノ
沿海ニ於ケル所ノ航海ハ、如何ナル狀況ニナルカ、又大正

十八年以降ニ於テ、日本ノ沿海ニ於ケル所ノ船舶ニ依ッテ
輸送サレル所ノ貨物等ニ於テ、十分ナル御調査ガアテ、然
ル後此案ヲ立テラレタノデアルカ、其御調査ガアルナラバ、ソ
レモ承リタイ

○元田國務大臣 細カイ事ハ又政府委員カラ申上デマス
ガ、私ハ本案ヲ提出致シタニ付キマシテハ、第一若ニ御賛成
ヲ受ケルダラウト思ヒマシタノハ、植原君、左様ニ期待シテ
居タノデアリマス、植原君ハ夙ニ海外ニ御出ニナリマシテ、
亞米利加邊ノ狀況等ニハ、最も能ク御通ジニナッテオ井デナ
サル、而シテ國民黨ニオ井デニナルノデアリマスガ、國民黨ニ
於キマシテハ、常ニ國策ノ樹立ト云フコトヲ絶叫サレテ居
ルト云フ事ニ、私ハ敬意ヲ拂テ居ルノデアリマス、國家百年ノ
大計ヲ豫メ樹テ掛ラナケレバナラヌ、其日暮シノヤウナ事ヲ
シテ居テハ、ハイカヌト云フコトハ、常ニ同黨ノ諸君ガ絶叫サレ
テオ井デニナルコト、思テ居リマス、出來得ルモノデアアルナ
ラバ、百年ノ大計畫ヲ各方面ニ悉ク樹テルト云フコトガ、最も
必要ナル事デアリマセウ、此點ニ於テハ、決シテ其主張ヲ私
共ハ否認ハ致シマセヌガ、各般ノ事物ニ於テ左様ニ大計畫
ヲ樹テルト云フコトハ、調査ガ行届キマセヌカラ、政府モ今
日漸次ニ計畫ヲ樹テ行クコトニナッテ居ルノデアリマス、幸
ニ鐵道ハ明治二十五年ノ當時ニ於キマシテ、大計畫ヲ樹
テ同時ニ最も急務ナリトスル所ノ鐵道網ガ出來マシテ、今
日迄ニ至リマシテ、略、完成ノ緒ニ著イテ居リマス、餘ス所
僅カナモノニナッテ居リマス、是ニ於テ第二ノ計畫ヲ致シテ、
全國ノ鐵道網、人口、經濟、列國トノ比較等モ取リマシテ
聯絡ノ上ニ於テ研究ヲ費シ、而シテ茲ニ鐵道敷設法案ヲ
提出致シタノハ、少クモ植原君方ガ御唱ヘニナッテ居ル所
ノ國策ノ樹立單ニ樹立ト云フ抽象的ノ言葉ニ非ラズシテ、
計畫ヲ茲ニ樹シタモノデアアルカラ、是ハ餘程御迎下サルコト
ト私ハ信ジタノデアリマス、尙ホ御迎下サルコトダラウト信ジ
テ居リマス、而シテ帝國ハ海國デアアルカラ、十八年後ニ至ッテ、
ドウ云フ様ニ船舶ノ交通ガナルカト云フコトモ、調ベテ居ラ
ヌノカト云フコトデアリマスガ、勿論其等ノ點ハ、調査考慮
ノ中ニ加ハテ居ルノデアリマスガ、四面海ヲ以テ環ラシテ居
リマシテモ、御承知ノ通り、貨物ハ上ゲタリ下ゲタリスル、人
ノ降リタリ乗リタリスル港ト云フモノハ、何處ニモ彼處ニモア
ルモノデハゴザイマセヌ、大體ニ於テ相當ノ港灣ト云フモノ
ハ、今日ニ於テ分リ切ッテ居ルノデアリマス、其港灣ノ設備ヲ
モト完全ニスルカ、セヌカト云フコトハ、是ハ別問題デアアル、ソレ
カラ今度ノ鐵道敷設法案ニ掲ゲテアル所ノ線路ヲ能ク御覽
ヲ願ヒマス、是迄敷設シテアル所デナク、地方ノ交通ニ缺ク
處、開發ニ何等交通機關ガ無イ處、若クハ横斷線、從貫線

ノ不足シテ居ルト云フモノヲ補ウテ、全部ノ線路ガ出來テ
居ルノデアリマス、是等ハ舟車ノ集マル所ノ港ガ將來ニ於テ
何所ニ行クダラウ、斯ウ云フコトヲマルデ眼中ニ置カズシテ、
此鐵道網ハ出來タモノデハゴザイマセヌ、サウデナイコトハ御
手許ニ差出シテアル所ノ説明書ヲ御覽下サレバ、多分明瞭
ニナッテ居ルト思フノデアリマス、十八年後ニ於キマシテハ、
地方經濟等ノ上ニ於キマシテ、又殖産興業ノ上ニ於キマシテ、
今日ヨリヨリ以上ノ隆運ヲ來シテ、變動モアリマセウ、變動
ハアリマシテモ、此鐵道網ニ選定致シテアル所ノ線路ナルモ
ノハ、必要デアルト云フコトヲ認メテ提案ヲ致シタイデアリマ
ス、決シテ此點ニ付テ固却致シテ居リマセヌ、今日カラ左様
ナ事ヲ致シテ、ソレガ當テニナルカト云フ、又御疑ガアルカモ
存ジマセヌガ、明治二十五年ニ敷設法ヲ設ケマシタ當時ニ
在リマシテハ、今日程ノ調査ハ行届イテ居ラヌノデアリマス、
而モ當時大英斷ヲ以テ縱貫線、若クハ横斷線、其他地方
線等ノ線路ヲ選定致シマシテ、豫定線ヲ設ケテ、數千里ノ
モノヲ掲ゲタノデアリマス、成程其中ニハ後ニ多少線路ノ變
更ヲ來シタモノモアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ、二十
五年ノ鐵道敷設法ノ線路網ハ、非常ナル變化ヲ來シテ居リ
マセヌ、二十五年カラ今日マデノ帝國ノ經濟其他ノ發達ハ
非常ナルモノデゴザイマス、此非常ナル變化ヲ經タ間ニ於キ
マシテ、ドレダケノ不都合ガアツタカト云ヘバ、敷設法ニ掲
タルモノハ、大體ニ於テ其用ヲ爲シテ敷設シ、來タノデアリ
マス、豫算ヲ請求シテ實地工事ニ著手スルコトハ、二十五
年カラ段々ヲ經テ、後年ニ請求ヲ致シタノデアリマスガ、
獨リ鐵道當局バカリデアリマセヌ、上下兩院ニ於キマシテ
モ、至當ナリト御認メニナッテ、即チ豫算ニ協賛サレ、鐵道ヲ
敷設シ了リツ、アリマス、此既往ノ成績ニ依テ見マシテ、其
當時ヨリハ遙ニ以上ノ力ヲ調査ニ盡シテ、又文明的ノ研究
モ當時ヨリハ進ンデ居ル、今日ノ知識ヲ以テ、諸方面ノ關
係必要事項ニ付テ、審議ヲ盡シマシテ、今回ノ敷設法ニ掲
ゲタル線路ハ、必要ナリト認メタノデアリマス、十八年後ニ
至ッテモ、斷ジテ非常ナル不都合ヲ發見スルヤウナコトハナ
イコトヲ、茲ニ私ハ確信ヲ斷言致シテ置キマス

○植原委員 元田鐵道大臣ノ銳意精勵、此鐵道網ヲ御
編成ニナツタコトニ付テハ、感謝致シマス、洵ニ結構デアルト
思ヒマス、併ナガラ私共ノ考ヘル所ハ其點デハナイノデアリ
マス、凡一國ノ鐵道計畫ニ付テハ、相當ナ計畫ヲ致サナケレ
バナラナイ、又都市ノコトニ付キマシテモ、日本ノ大阪市デ、
都市計畫ガナクテ、何處ニ道ヲ造ツラ宜イカ分ラヌト云フ
ヤウナ狀態ニ在ルノデアリマシテ、凡ソ一ツノ交通機關ヲ造
ルニ致シマシテモ、其計畫ヲ致シテ置タト云フコトハ、洵ニ結

構アルト思ヒマスガ、併ナガラス様ナモノヲ斯ク致サナケレバナラナト、二十年モ三十年モノ事ヲ、將來ノ程度マデ發達シ、人口ヤ產物ノ狀態ガ如何ニ發達シ、如何ニ變化スルカ分ラナイモノヲ、今日ノ産業狀態、今日ノ人口狀態、今日ノ日本ノ如キ海國ニ於テ、沿海ニ於ケル所ノ航海ノ狀、即チ船舶ニ依テ貨物乘客ノ輸送サレル狀態ヲモ考慮致サズシテ斯様ナ事ヲ定メテ、之ヲ法律ニ依テ決定シテ行クト云フコトハ危險千萬アル、國家ノ政策トシテ誤レルモノデアル、私共ノ議論ハ此ニアル御計畫ハ御尤アリマス、計畫ヲシテ置イテ、之ヲ鐵道院ニ於テ一般ノ國民ニ若シ必要ガアルナラバ之ヲ示シテ、是ダケノ鐵道ハ敷設スル積リガ此財政ガ出來レバ斯様々アル、又人口產物ノ異動ガ起レバ斯ウ云フ事ニスルト云フナラバ御尤デス、然ルニ今日法律ヲ以テ二十年モ三十年モノ事ヲ豫想シテ、政府委員ノ昨日ノ御説明ニ依レバ、其豫想モ無イノデアリマス、今日ノ此鐵道網ノ沿線ニ於ケル所ノ人口モ、物資ノ異動ノ狀態モ現在ノ狀態ヲ以テ取調ベタル、現在ノ狀態デ、三十年モ四十年モノ事ヲ確定スルニ云フコトハ危險千萬アル決シテ善イ政策デナイ、殊ニ之ヲ何時始メ何時終ルカト云フ、財源ノ基礎モ定メナイ間ニ、斯ノ如クスルト云フコトハ、決シテ國家ノ政策トシテ、健全ニシテ而モ安全ナルモノデナイ、私共ノ根據ハ此ニアルコトヲ御諒解ニナッテ戴キタイ而シテ大正十八年迄ハ、略々大正十九年度ノ計畫ニ依ッテ、工事ヲ進ムベキモノハ定マテ居ル、ソコデソレヲ完成シタ後、大正十八年度ニ日本ノ沿海ニ於ケル所ノ航海ノ狀態ハ、下ウ云フ狀態ニナルカ、大正十八年度カラ更ニ二十年、三十年ノ狀態ハ如何ニ變化スルカト云フ事ヲ御尋シタノデアリマス、其點ニ付テ何等ノ御答無カリシハ甚ダ遺憾デアリマスガ、若シ御取調ガアルナラバ、現在カラ將來ヲ豫測シテ、大正十八年度ニ於テハ、日本ノ沿海ヲ航行スル船舶ガ何ノ位ニナルカ、其船舶ノ速力ハ何ノ位、其乘客ガ何ノ位、貨物ガ何ノ位ニナル、更ニ大正十八年以後ニ於ケル所ノ乘客貨物ノ問題はモ相等ノ御調査ガアルナラバ伺ヒタイ、是ガ前ノ御尋ノ趣旨デアリマス

○石丸政府委員 私ヨリ御答致シマス、唯今植原君ノ御質問ニ對シテハ、三十年先キノ事ハ、一切分ラナト申上ゲル方ガ宜カラウト思フ、是ハドナタデモ沿海航路ノ十年先キノ事ニ就テ、ソレガ分ク御方ハナカラウト思フ、物ハ理窟ヲ先キニシテ事實ガ後ニ起ルト、事實ヲ先キニシテ理窟ヲ後ニスルノト、此ニツアルト思フ、鐵道ノ如キハ事實ニ依ッテ動ク方デアリマス、ソレ故ニ日本ノ沿海航路ノ將來ノ盛衰ニ依ッ

テ、三十年後ヲ考ヘルト云フコトハ、私ハ船舶ノ方ノ専門家デアリマセヌカラ存ジマセヌガ、多少交通機關ノ上カラ研究シテ居ルノデアリマスガ、日本ノ沿海航路ノ交通發達ト云フモノハ甚ダ幼稚ナノデアリマス、此戰爭後ニ於テ、必ズヤ非常ニ發展スルト云フコトヲ思フ、居タノデアリマス、所ガ「コースト・サービス」ニ依ッテ運バナケレバナラヌ物ガ、吾々ノ鐵道ニ據ッテ居ル貨銀ノ引上ヲ致シマシタケレドモ中々イカナイ、此原因ハ色々アリマスガ、私等ノ方ノ立場カラ考ヘマス、海陸ノ聯絡ノ設備ガ整ッテ居ラナイカララウト思フ、何故ナラバ「シッピング・エンド、ランデング」ト云フモノガ甚ダ高イノデ、是ガモウ少シ廉ク行ケルヤウニナリマシタナラバ、船ニ行ク物ハ船ニ行クト云フコトニナルト思フ、甚シキニ至ッテハ北海道ノ材木ガ青函間ヲ渡リマシテ、鐵道ニ依ッテ東京ニ入ルト云フヤウナ有様デアリマス、ソレデハ矢張世ノ進運ト社會ノ色々ナ變化ニ依リマシテ、段々ニ改良シテ行ッテ、海陸ノ聯絡ガ相兄弟ノ二仕事ヲスルト云フ時期ガ來ルダラウト思ヒマスガ、兎ニ角吾々ハマダ航路ノ方ヲ考ヘルヨリハ、自分ノ方ノ鐵道ノ交通機關ノ整備ヲ先キニ考ヘナケレバナラヌ、併シ交通機關ニ對シテソレヲ繋グ航路ニ付テハ急ラズ考ヘテ居ルノデアリマス、青函間ノ如キ、又四國本州間ノ如キ又關門釜山間ノ如キ、支那ノ方ノ事ニ付テモ考ヘテ居ル、ソレ故ニ此鐵道網ナルモノハ、ソコ迄考ヘテ作ラナケレバナラヌト云フ御説ノヤウデゴザイマスガ、是ハ私等ノ方デハサウ云フ考ハ致シテ居ラス、此網ナルモノハ現在ヲ以テ勘定シタカラ、當テニナラナイデハナイカト云フガ、全ク當テニナラナイノデアリマス、併ナガラ何カ物ヲ造ルニ付テハ自分ニ確信ヲ持タナケレバナラヌ、其確信ナルモノハ何ニ依ッテ起タカト云ヘバ、既往ノ鐵道敷設ニ於テ吾々ハ確信ヲ持ッテ居ル、三十年ノ間ニ敷設法ニ載リマシタ豫定線ト云フモノハ、只今大臣ノ御答辯中ニアリマシタ通り、其時代ノ調査ト云フモノハ殆ド物ニナッテ居ナイ、マルデ一夜作リト申シテ宜シイ、吾々モ其一部ニ關係シテ居タノデアリマスガ、法案ヲ出スニ付キマシテハ、參謀本部ノ圖ノ上デ線路ヲ入レマシタ、陸軍ノ御方モ御出デニナッテ、是ハ國防ニ要ルノダト云フヤウナ譯デアリマシタ、二十五線路ノ第一期線ト云フモノハソレデ出來タ、又其豫算モ机ノ上デ作ッタノデアリマス、併シ其豫算ニ於キマシテハ、非常ニ變化ヲ來シマシタ線路ニ於テハ餘リ違ハナイノデアリマス、是ハ豫算ノ違フコトハ當リ前ダラウト思フ、三十年間、國ガ何時マデモ「ステーションナリー」ニ在リマスレバ豫算ハ違ヒマセヌガ、ズント「經濟界ハ向上發展シテ參ル、先程モ申上ゲマス通り、二十五年ノ敷設法ノ當時ニ於テハ、日本ノ歲計ハ七千九百萬圓デアッタ、

鐵道ノ豫算ハ何程カト云ヘバ二百萬圓ノ豫算アル、然ルニ今日ハ十五億ノ國ノカガアッテ、鐵道省ニ於テハ建設改良費デ二億カラニナルト云フ時代デアリマス、斯ノ如キモノデアリマスカラ、豫算デ大體何カ據ルベキモノガナケレバ、此豫算ハドウヤッテ作ッタノカ、何モ見ズニ作ッタノデハナイカト云フコトヲ仰セラレマス、ソレデ此豫算ノ根據ハ、現在ノ貨物集散ヲ基ニシテヤリマシタ、斯ウ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマス、是ハトンノ參考ニナルノデアリマス、ソレカラ唯今ノ三十年先キノ事ヲ今カラ考ヘルコトハ出來ナイト云フ、立派ナ證據ガアル、鐵道ニ就キマシテ、是ハ一昨年ノ議會ノ本會ニ於テ、其時ノ總裁カラ皆様ニ申上ゲテアル、ソレハ大正二年ノ東海道ノ一番貨物ノ輻輳致シマス、一番激シイ所ノ統計ヲ取リマシテ、大正二年ニ於テ、今ヨリ三十年計畫ヲ立テルト云フコトデ、其時ノ鐵道院ノ諸君ガ作ラレタノデアリマス、之ヲ大正二年ニ作リマシテ三十年目ニ始メテ一哩ヲ一年經過スル人員ガ五百萬人、今ヨリ三十年經過テハ、五百萬人ガ一年一哩通過スルト云フ統計ノ上カラ、算盤ヲ出シタノデアリマス、之ハ最小自乘法ノ方法カラ出サレタノデアリマス、所ガ其三十年ニ來ルト云フ五百萬ト云フ人間ノ數ガ、大正七年度ノ末、八年度ニソレガモウ既ニ來タノデアリマス、三十年ノ後ニ來ルト豫定シタ其人ガ、大正八年ニ來タノデアリマス、貨物ハドウカト申シマス、是亦三十年後ニ於テハ、四百五十萬噸ニ達スルト云フノデアリマシタガ、ソレガモウ二三年經過タ中ニ、參リマスト云フヤウナ有様デアリマス、鐵道ノ如キモ是ハ今ノ戰爭ノ影響ヲ受ケテ、貨物ノ如キハサウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ常ニ戰爭ノ影響ノミデハナイ、是ハ即チ世界の經濟ヲ掌ルヤウニナリマシテ、戰爭ノ餘慶ト共ニ發展シタト私ハ思フ、何故ナラバ戰爭ガ濟ミマシテモ、此乘車人ノ人員ノ數ガ段々上ッテ行クノデアリマス、今日モ減ラナイノデアリマス、是ハ唯ダ一部ノ此乘客ト、ソレカラ貨物ダケデ是ダケナノデアリマス、斯ノ如キ變化ハ考ヘルコトハ出來ナイノデアリマス、學理上、今ノ最小自乘法ト云フ方法ニ依ッテヤッテ見マシタモノデスラ、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、三十年ノ後ニ貨物ガドウ云フ風ニ集散スルカ、此土地ハドウ人口ガ殖エルカ、到底分ルモノデハナイノデアリマス、唯ダ既往ノ實驗ニ依リマシテ、凡ソ此鐵道ヲ此處ニ架ケタナラバ、此處ハドレ位發展スルデアラウドノ位ノ處ニナルデアラウト云フコトハ、長ク專門ニ其實ニ從事シテ居ル者ハ、氣乗りガ致シテ能ク分ルノデアリマス、併シソレニシテモ、唯ダ從來ノ實驗ダケニ依ッテヤル譯ニハ行キマセヌカラ、其線ノ貨物ノ集散等ノコトハ、其時ノ現在ニ於テ之ヲ算出致スノデアリマス、此

現在ヲ算出スルト云フコトハ、昨日モ申上ゲマシタ通りニ、全國ノ線路ヲ調査スルニ付キマシテハ、幾組モ出シテアルノデアリマス、ソレデ銘々ニ考ヘルコトヲ致シマス云フト、見込ガ多クノデアリマス、一定ノ標準ヲ以テ、其標準ノ下ニ仕事ヲシテ居ル、ソレハ現在ヲ取リヨリ外ニ仕方ナク、見込ヲ入レマスト必ズ間違ガ多ク、此處ハ炭ガ出ル、此處ハ將來銅ガ出ルヲ云フ見込ハ、中々見込ノヤウニハ行キマセヌカラ、將來ノ事ハ一切言ハズシテ、消極的ニ此豫算ヲ作テ置ク、架ケレバ必ズヨリ以上ノコトハ其線路ニ掛ルト云フコトハ、疑ノナイ事デアリマス、既往ノ線ニ付テ見レバ、能クソレガ分ルノデアリマス、鐵道ハ四五年經チマスレバ相當ノ利益ガアルノデアリマス、ソレ故ニ内輪ニ見テ豫算ヲ以テ此所ニ出シテ、ソレデ判斷シテ行クト云フコトガ確カデアラウト私ハ思フ、ソレハ今ノ炭山ガアルカラ、三十年ノ後ニ於テハ何万噸出ルダラウ、ソコニ此鐵道ヲ造リマシタラ、一割二割以上ノ配當ヲ以テ行ケルト云フコトデ、線路ヲ造リマスコトハ譯ハナイノデアリマス、北海道ノ如キハ、ドンナ鐵道デモ出來ル譯デアリマス、サウナリマス、所謂杜撰ナルモノ、ニナリマス、吾々ハ當局ト致シマシテ、法律案ヲ出サウトスルニ付キマシテハ、何カシカリシテ根據ヲ以テ出サナケレバナラヌト云フノガ、ソコヲ當局ガ苦心致ス次第デザイマス、要スルニ鐵道ノ如キモノハズン、進歩シテ、文化ノ先驅トシテ進ンデ居ルノデアリマス、モウ私ハ本當ニ申上ゲマスレバ、三年先キノ事ヲ細カク言ヒ當テルコトハ出來マス、マイト思ヒマス、大體ニ於テソレヲ導クダケノモノヲ置イテ、仕事ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ又三十年ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ何モ法律ニハ三十年ト云フコトハ揭ゲテナイノデアリマス、經濟ガ非常ニ好クナリマシテ、公債募集デモ餘計シマスレバ、二十年ニモ之ヲ繰上ゲテ御目ニ懸ケルコトカ出來ル、其精神ニ於テハ何等變ルコトハナイノデアリマス、現行ノ法律ガ、既ニ其方法ニ依テヤッテ居ルノデアリマス、唯タ茲ニ現行ノ法律ハ此線路ヲチビ、少シツツ其時ノ行政官ノ頭ヲ以テ作テ、色々ニヤルカラ甚ダオカシナモノニナル、現ニ其線路網ハサウナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ爲スコトハ洵ニ殘念デスカラ、國策トシテ今カラ、作テ置イテ、ソレニ依テヤラウ、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレ故ニ年限モ切テナイ、金モ分リマセヌカラ載セテナイ、唯ダ根據トシテ何カ物ニ依テシタモノハナイカト云フノガ、今ノ吾々ガ斯ウ云フ頭ヲ以テヤッテ居ルノデアリマス、其三十年モ極ク長イ期間ヲ選ンデ、ドウシテモ是マデニ是ダケノモノヲ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テヤッテ居ルノデアリマス御分リニナリマシタカ

○植原委員 能ク明瞭ニナリマシタ、第一ニ明瞭ニナタクトハ、斯様ナコトヲ誤解シテ居ラナイノデアリマス、今日ノ日本ノ「コーストサーベンス」ハ非常ニ貧弱ナルモノダ、此原因ハ海陸ノ設備ヲ完全ニスベキ施設ガ出來テ居ラナイ爲デアアル、斯ウ云フ御話ノヤウニ思ヒマス、私モ左様デアルト諒解致シテ居リマス、併ナガラ日本ノ如キ海國ニ於テハ出來得ルダケノ水路ノ交通、運輸機關ヲ完全ニセナケレバナラヌ、而シテ陸上ノ交通、運輸ノ最も重要ナル所ノ鐵道ノ問題ヲ考慮スルニ付テハ、海上ニ於ケル所ノ沿岸ノ交通運輸ノ問題モ併セテ考慮致サナケレバナラナイ、此點ニ於テ御同意ニナタヤウデアアル、而シテ獨リ陸上ノ交通運輸ノ設備ニ依テ、將來乘客貨物ニ對シテ、ドウ云フ變化ガアルカ分ラナイト云フコトヲ仰シヤルト同ジ事ニ於テ、海上ニ於ケル所ノ交通運輸機關ガ完成サレタ場合ニ於テ、之ガドレダケ陸上ニ於ケル所ノ鐵道ノ乘客貨物ヲ緩和スルカト云フコトモ分ラナイ、斯ウ云フ御答ダラウト思フ、ソレ故ニソレカラ起テ來ル所ノ當然ノ結論ハ、今回ノ鐵道網ノ計畫ノ中ニハ、勿論將來ニ關スルコトナルガ故ニ、現在ニ於ケル所ノ港灣ノ不完全ナル海陸ノ交通、運輸機關ノ接續ガ完備サレ、且ツモウ少シ改良サレタ所ノ船舶、モウ少シ速力ノ大キイ所ノ船舶ガ、海上ニ於テ、交通運輸機關ヲ掌ル場合ニ、是等國内ニ於ケル所ノ乘客貨物ニ對シテ、如何様ナ變化ガ來ルカト云フコトモ、御考ナイデ、此鐵道網ノ御計畫ヲ爲ス、タモノデアアル、是モ結局石丸次官ノ御話ニ依リマス、ト云フコト、將來ノ事ダカラ到底分ラナイカラ、分ラナイトシテ、此鐵道網ヲ作ッテ鐵道サハ造レバ宜イコトダカラ、ソレダカラ此鐵道網ヲ作ッテ、斯ウ云フ御說明デアルト私ハ了解致シマス、(石丸政府委員「一寸ソコハ違ヒマス」ト呼フ)違フナラ御訂正ヲ願ヒタイガ私ハ左様ニ了解致シテ居ル、ソコデ此問題ハ一言ニシテ插擲ンデ見レバ、此鐵道網ニ付テハ日本ノ沿岸ニ於ケル所ノ水運ノ問題ヲ十分ニ考慮シテ立テラレテ居ラナイ、是ダケノコトハ明カデアアル、ソコデ尙ホ元田鐵道大臣ノ御話ニ依リマシテモ、港ハサウ何處ヘモ、造レルモノハナイカラシテ現在ノ港ガ好クナレバ、水路ノ上ノ交通運輸モ完全ニナルダラウガ、ソレハ鐵道ニ對シテハ甚シキ影響スマイ、斯ウ云フヤウナ御說明ノ中ニ御言葉ガアッタク諒解致シマス、港ハ何處ヘデモ造レルモノデアナイ、併ナガラ此四方海ヲ環ラス國、海ニ南北ノ橫斷ニ於テ短イ距離ノ間ニ於テ、東西ノ交通運輸機關ガ水路ニ依テ十分ニ出來ル場合ニ於テハ鐵道ノ上ニモ甚シキ影響ノアルト云フコトヲ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ必ズアルト思ヒマス、此點ニ於テ將來ノ事ダカラ分ラナイト云フ大體ニ於テ御說明デアリマス、カラシテ

其通りデアラウト思ヒマス、宛ニ角鐵道ノ問題ニ對シテ十分ニ海上ニ於ケル所ノ交通運輸ノ問題ヲ御考慮爲サッテ居ラナイト云フコトハ明瞭デアアル、(元田國務大臣「明瞭デアリマセヌ」ト呼フ)ソレハソレデ宜シイ、更ニ御尋致シタイ事ハ……

○元田國務大臣 御了解ガ違ヒマス、カラ分ルヤウニ申上ゲマセウ、私ノ點ダケ申上ゲマス、私ハ水運ノ發達ノ狀況等ハ分ラヌカラ、更ニ眼中ニ置イテナイナゾト申シタコトハ一ツモナイ、植原君ノ御聰明ニシテ之ヲ御聽キ誤ル譯ハナイト私ハ思フ、水運ガドウ云フヤウニ發達スルデアラウト云フコトハ、既往ヨリ今日ニ至ルマデ、現狀ニ至ルモノデ成績ヲ以テ、無論ハ考慮致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ海國デアアルカラト云フ、何處デモ彼處デモ港ハ出來ルモノデアナイ、是ハモウ河川港灣ノ調査ヲ致シテアリマス、大體ニ於テ將來ガ如何ニ發達致シマシテモ、大抵分シテ居リマス、其等ニ付テハ水運ト相俟テ、陸上ノ運輸ガ行カナケレバナラヌト云フコトハ、分リ切ッテ居ル話デアアル、水運ガ盛ニナレバ、ソレガ爲ニ鐵道ノ貨物ハ減ッテシマウヤウナ影響ガ來ルカト云フト、ソレハ大間違、内地ノ鐵道カラ輸送シタ物ハ水運ニモ移ル、水運カラ持來タ物ハ鐵道デ輸送シナケレバナラヌコトニナルノデアアルカラ、水運ガ盛ニナレバ、鐵道ガ盛ニナッテ來ルト私ハ思ッテ居ル、將來七八年以後ノ二十年、三十年ニドウナルカト云フコトハ、キカリ此處デ調ベタカラト云ッテ、ソレハ到底今日カラシテ明瞭點ノ相違ハナイト申シタ所ガ當ルモノデアナイ、斯様ニ申シタノデアリマス、當ルモノデアナイ、相違ヲ來スト云フコトハ、アリ得ルト云フコトヲ申シタノト、少シモ考慮ノ中ニ置カヌト云フコトハ、大變ニ違フノデアリマス、凡ソ物ヲ判斷スルニハ、既往ニ微シテ成績等總テノ點カラ見マシテ、將來ノ設計ヲ立テルト云フコトハ當然ノ事デアリマス、ソレハ豫想シテ居ル、ソレデ次官ノ答ヘラレタノモ、私ノト同様ニ私ノ耳ニハ入ッテ、ソレガマルキリ豫想ハシテ居リマセヌト云フヤウナコトニ御聽取リニナタト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、次官ノ言ハレタ所ヲ私ガ聽取ッタノハ、私ト矢張同様デ、現在迄ノ成績ヲ考慮ノ中ニ置イテ、將來ヲ圖ルト云フコトハ最善ヲ盡シタガ、十年先キ、二十年先キ、三十年先キニ何處其處ノ水運ヲ斯ウスルト云フコトヲ今言ッタ所ガ、是ハ何人ト雖モ明確ニ當テルコトハ出來マイト、斯ウ云フコトニ申サレタト私ハ信ジテ居ル、今日出來ル限リ考慮ヲ盡シテ居ル、ソレカラ先刻申上ゲテ置イタノデアリマス、植原サンハ此線路網ヲ能ク御覽下サッテ、山間僻地ノ最も交通不便ナ處ニ、運輸ノ途ヲ開クト云フコトガ大分此中ニアル、水運ヲ使用スルコトノ出來ナイ山間

ノ產物ハ、鐵道ニ依テ持出シテ行クヨリ外ナイ、ソレニハド
ウシテモ交通機關ヲ全ウシナケレバ運輸が出来ナイ、都市ノ
方デアリマス、ト云フ、既ニ敷設が大分出来テ居リマスガ、
地方ノ方ニ至ルト云フ、甚ダ交通機關ヲ缺イテ居ルノガ、
船ヲ補フコトが出来マヌナラバ、ソレハ鐵道ハ或ハ要ラスト
云フコトナリマスガ、左様ナ譯デハナイ、鐵道ガ益、發達ス
レバ地方ノ開發ハ出来ル、產物ガ出ル、之ヲ輸送スルノガ鐵
道アル、ソレハ何處ニ持テ行クカト云フ、内地ニモ輸送
シマスガ、船舶ニ依テ海外ニモ持テ行ク、兩々相俟テ國
ノ殷盛ヲ圖ルコトが出来ルト、斯様ニ信ズル、ドウゾ本案ハ
洵ニ尤アルト云フ方ニ、私共ノ説明ヲ御諒解下サルヤウ
ニ不尤ニナルヤウニ御聽取ニナラヌヤウニ願ヒ置キマス

○植原委員 鐵道大臣ニ御同情申シテ、努メテ左様ニ致
シタイト思ヒマスガ、諒解ノ出来ナイ事ハ左様ニ致ス譯ニハ
參ナリ、御説ノ如ク鐵道網ニ揭ゲテアル所ノ線路ハ、山間
僻地ノ處ヲ通過シテ居ルモノモ數多クアルコトモ、諒解致シ
テ居リマス、ケレドモ、問題ハ此ニアルノデアリマス、現在ノ水運
ヲ考慮致シ、現在ノ人口產物ヲ考慮致シテ二十年三十年
是ハ次官ハ三十年ト限リテナイト云フ御話デアリマス、ケレド
モ、其先ノ事ヲ確定シテ置クコトニハ賛成致シマス、ケレドモ、
一ツノ鐵道ガ或地方ニ出来タト云フガ爲ニ、非常ナ變化ヲ
生ズルト云フコトハ、人口ノ上ニモ產物ノ上ニモアリ得ル事
アラウト云フコトヲ、御承認爲ス、テ居ル所ヲ見ルト云フ、
其變化スルト云フコトヲ知リツ、モ、將來ノ鐵道ハ是ダケデ
アルト確定シテ置クハ危險ナル、一地方ニ於ケル
所ノ鐵道敷設ニ依テ、人口貨物ニ於テ異動ヲ來ストキニ
ハ、ソレヨリハ他ニモウ少シ迅速ニ造ラナケレバナラヌ線路ガ、
茲ニ豫定サレタ所ノ他ニ多々起ツテ來ルト思ヒマス、ソレ
故ニ若シ左様ナル事ガアリト致シマスレバ、若シ二十年三
十年ノ中ニ、或地方ニ於ケル所ノ人口產物ニ於テ、甚シキ異
動ヲ生ジテ參リマスル場合ニ於テ、此鐵道網以外ニ鐵道網
ニ載セタル所ノ線路ヨリハ、至急ニ建設スルコトガ、國家ノ
爲ニ有利デアルト云フコトガ、多々起ツテ來ルト云フコトヲ
私共思フ、テ居ルノデアリマス、其場合ニ於テ此モノヲ決定シ
テ、サウシテ將來ノ考ノ出来ナイモノヲ除外シテ置クヤウ
ナ計畫ハ、計畫トシテ大本ヲ定ムル上ニハ宜シウゴザイマス、ケ
レドモ、法律トシテ斯様ナモノヲ定メテ置クハ危險ナル、
決シテ鐵道ノ完全ナル發達ヲ圖ル所以デナイト、斯様ニ考
慮致スノデアリマス、其點ニ於テハ私共ノ見解ニ、今迄鐵道
大臣ガ納得セシムル所ノ御意見ヲ御示シ下サルヤウコトヲ
甚ダ遺憾ニ思ヒマス、更ニ御尋致シタイ事ハ、水運ノ問題

ハ別ト致シマス、將來ノ飛行機、飛行船ノ問題ヲ考ヘマス
ト、是モ大分交通運輸ノ機關ニ利用出来ルト思フ、殊ニ私ハ
斯様ニナルト思フ、此海軍ノ縮小ニ依テ、日本ニ於テモ是
カラドウシテモ飛行機、飛行船ヲ盛ニ造ラナケレバナラヌ、飛
行機、飛行船ニ於テハ、産業上ノ飛行機、飛行船ト軍用上
ノ飛行機、飛行船ト區別ガ無い、ソレ故ニ制限スルコトガ出
來ナイト云フコトハ、華盛頓會議ニ於テモ、各國ノ委員ノ承
認シタ所デアリマス、シテ見ルト云フ、一ハ産業ノ爲メ、一
ハ國防ノ爲メ、近キ將來ニ日本ニ於テモ、非常ニ飛行機飛
行船ノ發達ニ努力スルコトハ、獨リ交通運輸ノミナラズ、國
防上カラモ起ツテ來ルコトト私ハ諒解ヲ致シテ居リマス、其
場合ニ於キマシテ、若シ飛行機、飛行船ガ可ナリ有力ニ交
通機關ニ使ヘルヤウニナリマシタナラバ、此鐵道網ニ計畫シ
テアル所ノ線路ニ、變更ヲ來サナケレバナラヌノミナラズ、
新シイ飛行機、飛行船ヲ接續スベキ線路ヲ現在ノ鐵道網ニ
計畫シテアルヨリハ、迅速ニ造ラナケレバナリマス、モ、多々
起ツテ來ルト云フコトヲ、私ハ推測スルモノデアリマス、是等ニ
付テモ十分ニ御考慮ガアツカドウカ、御考慮ガアツタラ、ドノ
程度ノ御考慮ガアツカドウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○元田國務大臣 第一ニ今一言致シテ見ヤウト思ヒマス
ノハ、ドウモ植原君ノ納得スル迄ニ説明ガ足ラヌト云フコト
デアル、洵ニ遺憾ノ至リニ存ジマスガ、唯今御述ニナツタ御
趣旨ガ、矢張私共ノ説明ト齟齬致シテ居ルコトヲ遺憾ト致
シマス、他日ニ至ツタナラバ、現在ヨリ又數本ノ線路ヲ増サナ
ケレバナラヌヤウナ變化ガ來ルデアラウ、計畫ヲ立テルノハ宜
カラウケレドモ、斯ウ云フ増サナケレバナラヌ線路ガ出來テ
來ルト云フコトガアリ得ルナラバ、ドウモ殘念デナイト、斯ウ
云フ御言葉デゴザイマスガ、假令後日ニ至ツテ、數本ノ追加
ヲ要スルモノガ出來テ來マシテモ、此法案ニ記載シタルモノ
ハ必要ナイトハ認メテ居ラスノデス、又ソレヲ法律ニ定メテ
置クノハイカニデヤナリカト云フコトデアリマスガ、左様ナ必
要ナモノガ萬一出來マシタナラバ、法律ニ線路ヲ追加スル
コトハ、何モムツカシイ事デアリマセヌ、如何ナル計畫
ヲ立テ、置キマシテモ、多少ノ補充ト云フモノヲ他日致スト
云フコトハアルベキ事デアル、ソレガ爲ニ今日ノ玉デアル所ノ
モノガ、他日少計リノ附加ヘテシナケレバナラヌ必要ガ起ル
カモ知レナイト云ウテ、全部破壊スル必要ハナイ、又破壊シ
テハナラヌ、斯様ニ私モ信ジテ居ル、ソレデ植原君ガ深切ニ
御考下サレバ、水運等ノ色々ナ關係モアルコトデアルカラシ
テ、是等ノ鐵道ハ其影響ヲ受ケルカモ知レヌトノ御心配デ
スガ、私共ハ惡影響ヲ受ケヌト斯ウ考ヘテ提案致シテ居
ルノデアリマス、恐クハ植原君ニ於キマシテモ、山間ヲ貫通シ

テ居ル所ノ線路ニ付テ、海ノ水運ガ能ク出來ルヤウニナツ
カト申シテ、其線路ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトハ御考ニ
ナラヌデアラウ、此所ニ揭ゲテアル所ノ線路網ナルモノハ御
説明申上ゲル迄モナク、説明書ガ差出シテアルカラ能ク御
分リト存ジマスガ、多ク交通不便ナル橫斷線、縱貫線ノ未
ダ完全ナラザル所、之ヲ外ニ致シマシテハ、地方ニ非常ナ
ル交通不便ナ處ガ多ク出テ居ルノデアリマス、大體ニ於
キマシテハ、水運ノ爲ニ影響ヲ惡ク蒙ルト云フヤウナ線路、
ハ無いノデアリマス、併ナガラ斯ル海岸ヲ廻ルモノハドウア
ラウカト云フヤウナ御考ガアリマスナラバ、其等ノ線路ニ付
テ御意見ノアル所ヲ修正意見ヲ爲サルト云フコトハ、ソレハ
御隨意ナノデアリマス、多クノモノハサウ云フモノニ關係ヲ
持タナイ、乃至交通不便ナモデ横斷スル線、縱貫スル線路、
斯ウ云フコトニテ居ルノデアル、之ニ付テハ水陸ノ關係モ
良ク、水運盛ナレバナル程鐵道亦必要ナリト云フコトニナル
ヨリ以外、決シテ惡イ結果ヲ起スノ氣遣ハナイノデアリマ
ス、是ハ能ク御承知下サルヤウ、此所ニ揭ゲテアリマス所ノ
百四十九本細カク致シマスレバ、百七十幾ツト云フコトニナ
ツテ居リマスガ、其中二一、三水運ノ爲ニ關係ノアルト云フ
アナタノ御見込ヲ立テル海岸ノモノモ、カモ知リマセヌ、
當局ニ於キマシテハ、水運盛ナレバ益、必要デアルト認メテ居
ルノデアリマス、其他ノモノハ多ク山間ヲ通テ居ル線路デ
アル、之ヲ能ク御承知ヲ願フ、置キマス、ソレカラ飛行機、飛
行船ノ問題ガアリマシタガ、是ハ將來ニ於テハ、如何ナル發
達ヲスルカ測リ知ルベカラザルモノデアリマスガ、是等ノ事ヲ
全ク考慮中カラ逸シテハ、居リマセヌ併ナガラ今日飛行機
飛行船ガ發達致シマシテモ、帝國ノ陸上ニ於テハ、今回提
案シタル所ノ鐵道網ハ必要ナリト確信シテ出シテ居ルノデ
アリマス、ソレデ他日ニ至ツテ追加スルモノハアリ得ルデアリ
マセウケレドモ、之ヲ削減スルモノハ私ハ無いト思フ
是非共是ダケハ、拵ヘナケレバナラヌト云フコトヲ確信ヲ以テ出シ
テアルノデアリマス、是デ私ノ趣意ハ御分リニナツタコト、存
ジマス、尙ホ添エテ希望ヲ述ベテ置キマス、折角計畫ヲ立テ
タコトニ付テハ御同意ヲ得、御賞讃ヲ得タノデ、洵ニ喜ンデ
居ルノデアリマスガ、計畫ヲ立テルコトガ、既ニ至當ナリト御
認メニナリマシテサウシテ、此案ナルモノガ十數年來鐵道省
ニ居ル職員ノ心血ヲ注イデ調査ヲシ、諸般ノ點ニ考慮ヲ費
シテ、茲ニ鐵道網ノ計畫ヲ立テタト云フコトデアリマスナラ
バ此盡瘁シタル心事及努力ニ對シテハ、御同情下サルコト
ト信ジマス、御同情下サルナラバ、何卒此案ノ大體ニ於テ成
立スルヤウニ玉デアナイト思召スナラバ玉ニナル様ニ、如何様ト
モ委員會ノ權能ヲ以テ行クノデアリマスカラ、ドウカ磨上ゲ

ルコトヲ切ニ望ムノデアリマス、一點二點ノ面白クナイト云フ事ノ爲ニ全體ノ玉ヲ打壞シテシマウト云フ結果ニ了ラヌヤウニ切ニ御願致シテ置キマス

○富安委員長 植原君、御質問ハマダ長イデスカ、長ケレバ午後二致シマスガ……

○植原委員 マダ一寸長ウゴザイマス

○富安委員長 ソレデハ午後二願ヒマス、一時開會致シマス、休憩致シマス

午前十二時休憩

午後一時二十七分開議

○富安委員長 ソレデハ唯今ヨリ開會致シマス、植原君

○植原委員 午前ノ元田鐵道大臣ノ御答辯ニ對シテ、尙ホ不明瞭ノ點ガアルカラ一言御尋致シマス、私ノ御尋致シタ點ハ、將來飛行機飛行船ト云フモノハ、非常ニ交通運輸ノ機關ニ使ハレル、此發達ハ極メテ迅速ナルモノデアリ、今回ノ華盛頓會議ニ於テモ、飛行機飛行船ハ軍事上ニ使ハレルモノト、商業上ニ使ハレルモノト、差別ガ出來ナイ、ソレ故ニ之ニ制限ヲ置クコトガ出來ナイト云フコトマデモ、各國ノ間ニ諒解ヲ得テ程デアリマス、殊ニ日本ニ於キマシテハ、必ヤ是ハ國防問題ノ上カラ致シマシテモ、飛行機飛行船ヲ大ニ獎勵シケレバナラヌ必要ノ起ルト云フコトハ、明瞭ノ事デアリ、ソレバカリデナク、飛行機飛行船ガ此十年十五年ノ將來ニ於テ、交通運輸ノ爲ニ重大ナル所ノ一機關ニナルト云フコトニ付テハ、何人モ否定スル者ガ無イト致シテ見レバ、斯ノ如キ將來ニ互ニ鐵道網ノ如キ計畫ヲ立テルニ付テハ、此問題モ十分ニ考慮致サナケレバナラナイ、鐵道大臣ハ考慮シテ居ル——ソレハ考慮ガサナイコトハナカラウケレドモ、是ガドノ程度マデニ日本ニ於テ、近ク十年、十五年ノ將來ニ於テ使用サレ得ルモノカ、此使用ガ可ナリ有力ニ産業上ニ使用サレル上ニ於テハ、鐵道ニ對シテドウ云フ影響ヲ及ボスカ位ノコトヲ、具體的ニ御取調ガアル筈デアラウト思フ、ソレガナケレバ二十年三十年モ先キニ互ニ所ノ鐵道計畫ノ起テ來ベキ筈ハナイ、ダカラシテ之ニ對シテ、ドノ程度マデノ豫想ヲ基礎トシテ、サウシテ此鐵道網ノ御計畫ヲ立テラレタモノカ、飛行機飛行船ニ對スル所ノ交通運輸ノ上ニ、十年十五年ノ將來ノ後ニ起ル變化ヲ推測致シ、斯ル鐵道網ノ計畫ヲ爲サレシモノカ、此基礎ガアルナラ之ヲ具體的ニ伺ヒタイ、斯様ニ申スノデアリヤ

○元田國務大臣 今回提出シタル所ノ線路ニ付キマシテハ、ドウシテモ敷設スルノ必要アリト認メテ居ル、飛行船若クハ飛行機ガ數十年ノ後ニ如何ニ發展スルカ知レマセヌガ今日考慮致シマシタ上カラハ、矢張此案ニ提出シタル所ノ

線路ハ、尙ホ必要デアルト認メテ出シタノデアリマス、私ノ昨日速記ヲ讀ンデ見マシタガ、開會以來御質問二同一ノモノガ四回モ五回モアル、デ唯今ノ御問ノ如キモ、先刻來ノ私ノ答辯、政府委員ノ答辯ヲ以テ、政府ノ趣旨ノ在ル所ヲ御辯解ニナラルコト、思ヒマス、是カラ以上ハ御見解ノ異ナル所デ、此敷設法ニ出テ居ル所ノ鐵道線路ノ、何處々々ハ不必要ナルダラウト御考ニナルコトハ、是ハ見解ノ違フ所デ、是以上ニハ答辯ヲ省キマス

○植原委員 假ニ鐵道大臣ノ申サレル如ク、此鐵道網ニ定メタル所ノモノハ、三十年經テモ變ラナイモノト假定致シマシテモ、飛行機、飛行船ガ使ハレ、水運便ガ盛ニナリ、致シタ場合ニ於テ、此計畫シタル所ノ線路ヨリハ、更ニ速成ヲ急グ線路ノ必要ヲ感ズルヤウナコトガ、此鐵道網ノ計畫ノ完成ノ後ニ無イト云フコトヲ御斷言ガサルカ如何カ、之ヲ伺ヒテ置キタイ

○元田國務大臣 是モモウスカリ御答ヲシテアルノデ明瞭ト思ヒマス、速記錄ニ就テ御覽ヲ願ヒマス

○植原委員 御答ガ出來ナイト云フナラバ、私ハ敢テ御尋ハ致シマセヌ、誠ニ簡單ノ事デアリマス、今マデノ御言ヒニナタコトガ、明瞭ニ其點ガ速記ニ御答ガ有タナラバ宜シ、無ケレバ私ハ重ねテ此問題ヲ御尋シナケレバナラナイト云フコトヲ、私ノ質問ヲ保留シテ置キマス、尙ホ私ハ今ノ御答ニ依ルト、今マデ御答ニナタコトヲ、全部綜合シテ斯様ニ解釋致シマス、三十年ノ後ニ是ダケノ鐵道網ニ定メタル所ノ線路ハ、確定的ノモノト見テモ、其他ノ交通機關、產物、人口等ノ變化ニ依テ、是以上ニ必要ヲ感ズル所ノ線路ガ、幾多アルト云フコトヲ御承認ガスタモト、私ハ斯様ニ解釋シテ質問ヲ打切りマス、次ニ御尋シタイ事ハ道路ノ問題ノ事デアリマス、今日ノ日本ノ全國ニ互ニ國道ト申シ、縣道ト申シ、極メテ貧弱ナルモノデアリ、交通通信ノ機關ヲ完全ナラシメヤウトスルナラバ、是等ノ事ヲ早晩一大改良ヲ施スベキコトハ、近キ將來ニ在ルモノト推測致シマス、私ハ正木君ノ申サレル如ク、鐵道局ニ於テ自動車ヲドウスウトハ申シマセヌ、又自動車ヲ補助機關トシテ、ドウスウト云フコトハ申シマセヌ、若シ假ニ日本ノ商工業ノ狀態ガ、今日ノ歐米ノ都市ニ於ケルガ如キ狀態マデ、發達致スモノト假定致シマスナラバ、又三十年四十年ノ後ニ左様ニナラネバナラヌ三十年四十年ノ後ニ日本ノ産業ノ狀態ガ、今日ノ歐米ノ都市ニ於ケルガ如ク發達スルモノト致シマスナラバ、是ハ米國ニ於テ紐育「ロスアンゼルス」、桑港、市俄古是等ノ或都市ニ於テハ、七人ニ對シテ一臺ノ自動車ヲ有シ、或都市ニ於テハ、十三人ニ對シテ一臺ノ自動車ヲ有シテ居ル、日本モ三十

年四十年ノ後ニハ、可ナリ發達サレルコト、推測シナケレバナラヌ、又左様ナルコトヲ希望スル、シテ見マスレバ道路ニ對シテモ、非常ナル所ノ改良ヲ加ヘ、今日ノ國道ニセヨ、縣道ニセヨ、是等ガ十分ニ改良サレマシテ、茲ニ歐米ノ商工業地ニ於ケルガ如ク、日本ニ於テモ二十年三十年ノ後ニ自動車ガ交通通信ノ機關ニ使ハレル場合ニ於テ、是等ノ計畫中ノ線路ニ對シテ、影響ナイト推測スルコトハ出來ナイ、是等ニ對シテドノ程度マデノ御考慮ヲ基礎トシテ、此案ヲ立案ガサレタノカ伺ヒタイ

○元田國務大臣 自動車ノコトニ付テハ、先刻政府委員ヨリ御答ヲ致シタと思ヒテ居リマス

○植原委員 正木君ノ質問トハ全ク違ヒマス

○元田國務大臣 全クハ違ヒマセヌ、正木君ニ對スル御答ヲ既味スレバ、自ラ解釋スルコトガ出來ルト思ヒマス、私ノ愚ナル能力ヲ以テモ出來ルノデアリマス、私ハ何過モ繰返シマスガ、是ダケハドウシテモ帝國ノ鐵道トシテ必要デアリ、其理由ハ度々申シタ、私ハ成ベク敬意ヲ表シテ交ヘ、御出デニナル御方ニ御答ヲ致シタイノデアリマスガ、始終此處ニ出席シテ御聽ニナタテ居ル御方ニハ、何過モ繰返シタト云フヤウナ御話モ承テ居リマスカラ、ソレ故ニ先刻申上ゲタヤウナ次第デアリマス、水運ノコトモ既ニ申上ゲマシタ、是ダケハドウシテモ必要ノモノト信ジマス、將來必要ナイト云フ御斷定ナラバ、有ルダケニ御修正ナリ、何ナリ、御意見ヲ出サル、ガ當リ前デアルト思ヒマス、當局ハ確信ヲ以テ之ヲ出シタノデアリマス、モウ少シ詳シク申上ゲタラ宜イノデアリマセウガ、ドウカソレデ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○植原委員 私ハ鐵道大臣ニ對シテ、甚ダ不満足ニ思ヒマス、私ハ政府ガ如何ナル案ヲ出スト雖モ、確信ノナイモノヲ出ストハ思ヒマセヌ、三十年四十年ニ互ニ國民ノ利害得失ニ關スル問題ニ付テ、一回ヤ二回繰返ス答辯ヲウルサガルト云フコトハ、實ニ不深切極マルト思フ、何人ト雖モ一ツノ案ヲ自ラ出ス以上ハ、ソレガ其人ニ取テハ完全ダト思ヒマセウ、其人ガ考ヘマシタナラバ、國家ノ爲ニ重要ナルモノト思ヒマセウ、併ナガラ議院政治デアル、ウルサイコトハ當然デス、少クトモ國民ニ徹底セシムルダケノ御覺悟ガナケレバ議院政治ニ於テ一ツノ案ヲ出シテ、國民ニ満足セシムルヤウニ爲サルコトハ出來マスマイ、專制政治デアリマセヌ、正木君ノ質問ハ唯タ鐵道ノ終點或ル場處カラ或ル場處ニ至ル迄ハ、自動車ヲ運用スル、左様ナコトヲ鐵道省デハ企テルカ企テナイカト云フ事ノ問題デアリ、私ノ問題ハソレト全ク趣ヲ異ニシテ居リマス、今日ノ道路デアレバコソ、日本ニ於テ自動車ガ交通、通信ノ機關ニ、唯タ都市ニ於テ使用サレテ居

ル以外ノ事デアル、其他ノ地ニ於テハ使ハレテ居ラヌ、若シ將來二三十年ノ後ニ發達スルト致シマスナラバ、歐米諸國ニ於ケルガ如ク完全ナ道路ガ出來ヤト思フ、元田鐵道大臣ハ今回亞米利加ノ太平洋沿岸ニ於テ、二千哩ノ「パシフィック・ハイウェイ」ヲ造ラシコトヲ御存ジデアリマセウ、是等ガ如何ニ鐵道ト相立ンデ、交通運輸ノ便ヲ爲シテ居ルカト云フコトヲ考慮スル場合ニ於テ、日本ニ於テ今日ノ國道、縣道等ニ於テモ、是ガ若シ日本ノ發達ガ歐米諸國ノ如キ狀態ヲ行クナラバ、國道モ縣道モ遠カラズ「アスファルト」ト云フ「セメント」ト云フ、木道ト云フ、何カニ依テ完全ナモノニナラナレバナラヌト思フ、然ラザル限リハ、日本ノ商工業ノ發達ハ出來ナイ、ソコデ、二三十年先ヲ豫想シテ此二三十年後ニ對スル鐵道網ヲ御計畫ニナシテ居ルカ、若シソレデアラナラバ、ドノ程度マデ道路ガ交通運輸ノ機關ガ左様ニ改築サレタ場合ニ使ハレテ、自動車ガドレダケ日本ノ國內ニ於ケル交通、通信機關ノ便利ニナルカ、其等ノ基礎ヲ御考慮ナサツカ、若シ相當ノ基礎ト御意見ガアルナラバ伺ヒタイト云フノデス、正木君ノ質問トハ全ク違フテ居リマス

○元田國務大臣 私ハ成ルベク深切ニ御答致シタイト思フ、居ルノデアリマスガ、成程唯今道路ノ事ニ付テノ御尋ニ對シテハ、初メデアリマス、繰返シテ居リマセヌ、是ハ私ガ誤リ居リマス、道路ノ事ニ付キマシテハ御承知ノ通り道路法モ出來テ居リマス、ドノ位ノ程度ニ進歩シツ、アルカト云フコトハ、私ハ此處デ詳シイ御答辯ハ出來マセヌ、所管ガ違ヒマス、所管ガ違フテモ十分ニ御答スレバ宜イノデアリマス、ケレドモ、自分ハ即答ハ出來マセヌ、併シ遠キ將來ニ於キマシテハ、日本ノ道路モ亞米利加ノヤウニナラナレバナラヌト思ヒマス、又國家ノ時運ガサウナルダラウ、其時ノ事ヲ考慮致シマシテモ、御承知ノ通り私ヨリハ亞米利加ノ事情ハ植原君ノ方ガ遙ニ新知識ノアル御方デアアル、君ノ唯今ノ御言葉ニモ、亞米利加ニ於テハ鐵道ト道路ト改善シテ、幾万ノ自動車ト相俟ツテ、今日ノ運輸交通ニ便シテ居ル、日本モ斯ウ云フ事ニナラナレ、ナラヌト、如何ニモ其通りニ考ヘマス、其事ヲ考ヘズニ鐵道網ヲ造ラシメテハアリマセヌ、亞米利加ニ於キマシテハ御承知ノ通り、日本カラ見マシテハ十分割モ鐵道ハ發達シテ居ルト云フ、宜カラウト思フ、斯ノ如ク完全ナル鐵道網ヲ有シテ居ラヌ、尙ホ自動車ト相俟ツテ貨物ノ集散、人ノ往來ト云フモノニ便シテ、益、隆盛ニナシテ行キ居ルノデアリマス、日本ニ於テモ他年亞米利加ト同様ニ、隆盛ヲ極メルヤウニナラナレバナラヌ、ナツタ時ニハ、今日ノ鐵道デハ足りマセヌ、今回拵ヘタル鐵道敷設法ニ掲ゲテアル線路ヲ見テモ、尙且ツ不足ヲ告グルコトガアラウト思フ、先刻御

斷定ガアリマシタガ御斷定ハ御隨意デアリマス、ケレドモ、數日來説明シテ居ル所ノ私ノ趣旨トハ全ク違フテ居リマス、將來ニ於テ先ヅ是デ鐵道網ハ稍完備ト思フ、併ナガラ他日尙ホ追加スルモノモ出テ來ヤウ、追加スルモノガ出テ來レバ、緩急モ自ラ國防トノ關係其他カラ出デアラマセウガ、今日ノ程度ニ於テ私ノ計畫ヲ立テル上ニ於キマシテハ、是デ完全デアルト認メテ居リマス、ト云フコトヲ屢、繰返シテ居ル、ソレデ亞米利加ニ於テハ鐵道ガ要ラナクナツテ、段々ホデクリ返シテ、自動車ニ變ヘテシマウト云フナラバ、是モ一ツノ參考デアリマスガ、私ハ寡聞ニシテ未ダサウ云フコトヲ聞イテ居リマセヌ、日本ハ亞米利加ト較ベテ遙ニ十分ノ一以下ニ在ルノデアリマス、亞米利加ニ付テ、能ク亞米利加ノ通りニ道路ガ改築サレ、亞米利加ノ通りニ自動車ガ發達シタ所デ、マダ鐵道ハ十ガ一ニモ達シテ居ラヌ、擴張スル餘地ハ十分ニアリ、而シテ今回ノ線路網ニアルモノハ、ドウシテモ必要デアル、尙且ツ足ラザルヲ憂フルコトガアリマセウ、斯様ニ申シタ譯デアリマス

○植原委員 私ハ十年十五年先ニ道路ガ相當ニ改善サレタ場合ニ、ソレニ依テ日本ノ交通運輸ガ、ドノ位ニ爲サレルカト云フコトヲ豫メ推測ナサシテ居ルカト云フ御尋ヲ致シマシタケレドモ、ソレニ對シテ何等ノ御答モアリマセヌ、御答モ無イカラ、ソレ以上ニ質問致シマセヌガ、其問題ニ付テハ唯ダ私ハ今一ツ御尋シナケレバナラヌ事ハ、茲ニ鐵道網ニ掲ゲテアルマスル所ノ線路ハ、絕對ノ必要ナモノデアルト信ジテ居ル、併ナガラ其他ニモ日本ノ産業ガ發達シ、其他ニモ交通運輸ノ機關ガ完成シタナラバ、必要ナ線路モ起ルダラウ、又其間ニ於テ緩急自ラ定マルデアラウ、是ダケノ事ハ御認メニナシテ居ルノデアルカ、是レ以外ニ尙ホ必要ナ線路ガ將來起ルモノ、又現在ニ定メテアル線路ニシタ所ガドレヲ先ニシテ、ドレヲ後ニスルト云フヤウナ問題ガ起ルダラウト思ヒマスガ、ソレダケノ事ヲ御承認ナサシタモノトシテ宜イカドウカ、ソレヲ伺フテ置イテ、次ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○元田國務大臣 此草案ニ定メテアリマス中ニ付キマシテ、緩急ヲ計シテ財政ノ許ス限リ豫算ヲ提出スル、其等ノ場合ニ於テハ重要ナル件ハ鐵道會議ニ付シテ、尙ホ攻究ヲ遂ゲテ豫算ヲ提出シテ、兩院ノ御協賛ニ待ツト云フコトニナツテ居リマス、其他ノ御尋ハ度々御答辯致シマシタカラ略シマス、○植原委員 ソコデ私ノ疑問ガ起ルコトハ、斯様ナ事デアリマス、是ダケノ計畫ヲ定メテ、鐵道院ニ於テ備付ケテ置ク、之ヲ以テ大體ノ方針トシテ進ムト云フコトニ付テハ異議ガアリマセヌ、併ナガラ是ダケノ多數ノ線ヲ何時起工シ、何時竣工スルカ定マラナイ、而モ其財源ニ於テモ、更ニ確定致サ

ナイモノヲ出シテ置キナガラ、是ダケノモノハ絕對ノモノダ、而シテ後ニモ尙ホ人口、產物、他ノ交通、運輸機關ノ變化ニ依テ、更ニ是以上ニ迅速ニ造ラナレバナラヌ鐵道ガアルカモ知レナイト云フコトヲ、御承認ナサルト云フコトハ、左様ナ場合ニ於テ恐レル點ハ此點ヲ恐レマス、是ダケノ線路ヲヤルト定メテ置キマスルナラバ、之ヲドウシテモ造ラナレバ、サナナナイ、元田鐵道大臣ガ大臣デ永久ニ居ラレナラバ、サウ云フ憂モナイガ、然ラザル限リ、過去ニ於テ鐵道ヲ以テ黨勢擴張ノ具ニ供シタト云フコトハ、何レノ黨ト云ヒマセヌ、サウ云フコトノ事實ヲ、日本ノ選舉區、政界ノ事實ヲ承知致シテ居ル者ハ、否定スルコトノ斷ジテ出來ナイ事デアリマス、而シテ元田鐵道大臣ハ、黨派ノ問題デ鐵道ヲ左右サレナイ、誠ニ大臣ハ其通りデアルト云フコトハ、私信ジテ居リマス、併ナガラ斯様ナモノハ必ズヤルガ、何時ヤルカ分ラナイト云テ、國民ノ前ニ提出シタ場合ニ於テハ、之ヲ利用シテ政黨ガ政爭ノ具ニ供サウトスレバ、隨分出來ルト思ヒマス、此弊害ガ將來起ルト云フコトヲ御懸念ナサレナイカ如何カ、私ハ過去ノ鐵道ニ依テ、政黨ガ黨勢扶植ノ具ニシタ事實ニ依テ、否認スルコトハ出來ナイト思フ、是ハ實ニ危險千萬ダ、出來ルガ何時出來ルカ分ラナイ、私ノ方ヲ先ニ造ラシメ、此方ヲ先ニ造ラシメ、斯ウスレバ造ラシメタルト云フヤウナ事ガ、日本ノ現在ノ政界ニ於テ起リマス、シテ見レバ法律トシテ置カナケレバ差支ナイガ、法律トシテ必ズ造ルト云フ意思ヲ表示シタ以上ハ、此方ヲ先ニシテ造ラシメ、此方ヲ後ニシテ造ラシメ、問題デ、是ガ政界ニ於テ、政黨關係ノ間ニ一大變化ヲ生ズル紀元ヲ作ルモノダト懸念ヲ致シマス、此點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ願ヒマス

○元田國務大臣 線路ヲ定メテ置キマシテ、緩急其他ノ事ニ付キマシテハ、唯今申上ゲマシタ通りニ、敷設法ノ第三條ニ規定ガアリマス、政府ガ勝手ニヤルコトノ出來ヌコトニナツテ居リマス、植原君ハ斯様ノ法律ヲ定メテ置イタナラバ、政黨ノ政爭ノ具ニ供セラレテ、害ヲ爲スデアラウト云フコトデアリマス、私ハ正反對ノ考ヲ持ツテ居ル、定メテ置カヌト、時々ノ政府ガ勝手ニ聯絡ノ貫通シナイ所ノ三本七本ヲ出シテ、人間ノ一身ヲ成サナイヤウナ、指ヲ出シタリ手ヲ出シタリ、足ヲ出シタリスルト云フヤウナコトガ出來マスカラ、茲ニ連絡其他ノ點ニ付テ、劃然タル鐵道網ヲ作テ置キマシテ、而シテ帝國議會ノ御審議ヲ經テ、確定シテ置クト云フコトガサウ云フヤウナ事ヲ防グニ妙デアルト私ハ思フ、居ルノデアリマス以前ノ歴史ヲ見マシテモ、或内閣ノ計畫シタ鐵道ガ、其次ノ内閣ニナレバ止メテシマツヤウナコトガ、或ハ無イデアハナイカト思ヒマス、法律ニ計畫ヲ立テ、置キマセヌト云フト、植

原君ノ憂ヘラレヤウナ線路ヲ出シテ來テサウシテ五本、七本ゾ、ヤルト云フコトデ、出來上ツタモノハ、脈絡モ何モ貫通セヌト云フ弊害ヲ來タスト、サウ云フコトガ甚ダ憂ヘラレル、其故ニ左様ナ事ノナイ今日ニ於キマシテ、鐵道敷設法ヲ政府ニ於テ截然ト案ヲ提出致シテ、而シテ上下兩院ノ公明正大ナル御審議ニ待テ確信シテ置ク、斯様ニ致セバ他日他ノ者ガ出テ來タ所ガ、容易ニ動かスコトガ出來マセヌ、是ガ即チ其弊ヲ防グ最モ適當ナル事ト信ジテ居ル、丁度御憂ニナル所ト反對デアリマス、私ハ幸ニ御認メ下サツテ洵ニ満足ニ存ジマスガ、前ハヤルマイ、君ハヤルマイケレドモ、内閣ガ變テ時分ニ、サウデナイコトガアルカモ知レヌト御意見、私ハヤルマイ積リデス、而シテ後來ニ至リテモ、成テケヤラセヌヤウニ自分ノ心ヲ以テ、最モ完全ナリト自ラ信ズル所ノ鐵道網ヲ茲ニ提案致シマシテ、上下兩院ノ審議ヲ經テ確定致シテ置イタナラバ、如何ナル人ガ他日變テ來テモ、此範圍ヲ超脱スルヤウナコトガ容易ク出來ナクナツテ、防ゲルヲウツ云フコトニ考ヘテ居ル、能ク此處ハ御熟考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ線路ニ付テ、之ヲ先キニヤテ吳レナゾト云フコトハ起ルヲラウト思フ、是ハ固ヨリ必ズ事實起ルニ相違アリマセヌ、ソレニ付テハ第三條ヲ設ケテ居テ、時ノ政府ト雖モ勝手ニ出來ナイコトニナツテ居リマス、地方ノ人民ガ運動シテ云々ト云フコトヲ、屢々本會デモ御尋ガアリマス、是ハ有リ得ル事デ、昨年ノ議會ニモ私ハ一二ノ或人ノ宣言書ヲ持ッテ居ッカラ、ソレヲ出サウト思ヒマシタガ、議員デハアルケレドモ、代議士ノ討論デハナイ、政府ニ立テ此處ニ出テ居ルノダカラト思フ、サウ云フモノハ出シマセナクツ、ソレハ鐵道省カラ出張致シテ、愈々實地ヲ測量スルカ云フコトニナツタナラバ、其地方ノ代議士ハ競ッテ先導シテ、成ベク其人々ノ思慮スル所ノ完全ノ線路ニシタイト云フコトデ案内ヲシ、人民ニモ我ガ盡力ニ依ッテ、此線路ヲ通サケレバナラヌヤウニスルト言ハレルコトヲ、隨分私聞イテ居リマス、ソレハ何派カニ——派トハ言ヒマセヌ、ドノ派モ皆ナヤテ居リマス、是ハ人情自然ノ事デアリマス、サウ云フコトニ關係ナクシテ、最善ノ考慮ヲ費シテ茲ニ定メテ置クノガ、一般ノ弊ヲ防グ所以デアルト、斯様ニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○植原委員 線路ダケヲ定メテ置キマシテモ、何時此工事ヲ始メルカト云フコトガ未定デアリマス、其財源モ未定デアリマス、シテ見レバ未定マラナイモノナラバ、デアルケレドモ定メテ置イテ何時ヤルカ分ラナイモノヲ、之ヲ政黨關係其他ノ個人ノ利益問題ニ依ッテ、隨分爭フ起スモノヲヤデ置ク程、危險千萬ナ事ハ無イト思フ、ソレカラ如何ニ鐵道大臣ガ完全ナモノト仰シヤツテモ、現在ノ人口、現在ノ產物ヲ

基礎ニシテ作ッテ居ルモノデアルカラ、三十年四十年後ニ完全ナリト云フコトハ言ハレマセヌ、今日ハ完全デアリマセウ、三十年四十年ノ後ヲ考慮スル場合ニ、完全トスルコトハ出來ナイ、ソレカラモウ一ツ今マデノ質問ニ付キマシテ、水運ノ問題ニ就テ考慮シテ居ルケレドモ、具體的何所マデ考慮シテ居ルカ、飛行機ニ對シテモ、考慮シテ居ルト云フ點ニ付テモ伺ヒマセヌ、道路ニ對シテモ、考慮シテ居ルト云フ點ノコトデ、何等考慮シテ所ノ具體的ノ事實ヲ私ハ伺ヒマセヌ、是等ノ點ヲ考慮致シテ全體ヲ見マストキニ、自己斷定ノ極メテ危險ナル畫策デアルト、斯様ニ申スヨリ致方ガイカラ、其他ノ事ハ議論ニナルカラ、是デ質問ハ止メマス

○金澤委員 私ノ御尋致シタイ事ハ、總理大臣ノ考ヘテ居ル事ト、鐵道大臣ノ御考ニナツテ居ル事ガ違フデ居ハシナイカ、斯ウ云フ質問ヲシタイノデアリマス、違フデ居ルカ違フデ居ラヌカ、先ヅ以テ御尋ネ致シマス

○元田國務大臣 是ハ異ナ御尋デゴザイマシテ、凡ソ議案ヲ議會ニ提出致シマスルニ付キマシテハ、内閣ノ議ヲ經テ出ス、而モ總理大臣ハ内閣ノ首班ニ居リマシテ總括スル人デアリマスカラ、其意見ガ違フ答ガイナイ譯デアリマス

○金澤委員 然ラバ御伺致シマス、總理大臣ハ施政ノ方針ヲ御演說ニナリマシテ、濱口君ノ質問、豫算會議ニ於テ答辯シタル所ノ速記録其他ニ依リマスト、固ヨリ將來ノ遠キコトハ何人ト雖モ見込メルモノデアナイ、隧道ヲ掘ルガ如クデ、暗クナツタリ明ルクナツタリト云フコトヲ御答ニナツテ居ル(笑聲)是ハ總理大臣ガ言フデ居ルカラ笑フコトハナイ、サウスルト鐵道大臣ガ何ヲ措イテモ熱心ニ苦心シテ調ベマシタモノデアルカラ、三十年モ四十年モ、或ハ百年掛ルカ分ラヌモノヲ、絕對的ノモノデアアル、斷ジテ之ヲ斷行シナケレバナラヌモノデアルト仰シヤツテ居ル、總理大臣ハ一寸先キガ見エナイト云フコトヲ告白シテ居ルニ拘ラス、鐵道大臣ハ種々ノ關係ニ依ッテ、是ハ斷定的案デアアル、斷ジテ之ヲ働カスコトハ出來ナイ、斯ウ仰シヤツテ居ル、其相違ノ點ハ如何ナル所カラ分レテ居リマスカ、明確ナ御答辯ヲ願ヒマス

○元田國務大臣 私ハ不幸ニシテ大藏大臣ノ豫算ノ答辯中、一寸先キハ、間ト云フコトハ聽損ヒマシタ、併シ施政ノ方針中ニ述ベラレタコトハ承知シテ居リマス、施政ノ方針中ニ述ベラレタコトハ、華盛頓會議ニ於テ軍備制限モシ、ソレノ平和ノ條約ト云フモノニ依ッテ、平和ヲ保障スルコトガ進ンデ此事ガ完成シタナラバ、世界ハ文化ノ上ニ於テ全力ヲ注イデ行クヤウニナル、就キマシテハ、帝國ニ於テモ教育ノ改善擴張、交通機關ノ整備、殖產貿易、是等ノ上ニ於テ、更ニ大ナル努力ヲ致サケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ

確ニ述ベラレテ居リマス、此意味ニ於キマシテ、私ト少シモ趣旨ハ違フデ居リマセヌ、唯タ何ヲ問ハレタ時カ知リマセヌガ、隧道ノ中ニ入ッテ、明ルクナツタリ暗クナツタリスルト云フノハ、是ハ如何カ總理大臣カ一場ノ面白ク御答ヲ致シタノデアリマセウカラ、ソレハ社ヲ若ク御質問ニ引用スベキコトデハナカラウト思フ、私ガ先刻モ申上デマシタヤウニ、既往十數年ノ成績ニ顧ミ、調査ヲ致シマシタ結果ニ依ッテ、今後ヲ推想致シマシテ、是デ完全ナリト認メテ居リマスガ、時勢ノ變遷、國防ノ變態ヲ來スコトガアル、ソレデ必ズ追加スルモノハ無イトハ言ハヌ、又尙ホ至急ナルモノガ他ニ出テ來ヌトモ言ハヌ、併シ今日深思熟考シタ所デハ、是ナラバ宜イト認メテ出シタノデアリマス、云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレデ一寸先キハ間ト言ツタカ知リマセヌガ……

○金澤委員 一寸先ハ間トハ言ハヌ、明ルクナツタリ、暗クナツタリ……

○元田國務大臣 ソレハ言方ハ少シ違フトシテモ、ソレヲ楯ニ取ッテ質問サレタ所ガ、恐ラク總理大臣モ私ト同ジ意味デアラウト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイ、鐵道敷設法ヲ出スニ付テ、總理大臣ト意見ガ違フト云フコトハ、大變デアリマス、違フコトハナイコトヲ保證致シマス、閣議ヲ以テ決定致シテ出シタノデアリマス

○金澤委員 總理大臣ト一ツモ意見ノ相違ハナイ、社ヲ若ク質問ト云フコトヲ唯今鐵道大臣ハ仰シヤイマシタガ一豫算會議ニ於テ國務大臣ガ答辯スル時ニ當ッテハ、社ヲ若クナケレバナラヌ、聽衆ヲ笑ハスヤウナコトヲ言ッテ、ソレデ差支ナイ事デゴザイマセウカ

○元田國務大臣 私ノ言葉ハ訂正致シマス、社ヲ若ク答ト云フノハ、或ハ語弊ガアツタカモ知レマセヌ、併ナガラ御答ヲ爲ス中ニ於キマシテ、多少其言葉ノ抑揚等ノコトガアリマス、其等ノ點ハ質問應答ノ前後ニ付テ、御考ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、國務大臣ガ豫算委員會ニ於テ、社ヲ若ク答辯スルノハ當然ノ事デアリマス、サウ仰シヤラレ、モウ洵ニ其通りデゴザイマス、併シ質問應答ノ中ニハ又是モ語弊ガアリマスガ、眞剣のニヤツテ居ル時ト、或ハ修辭ガソコニ波瀾ヲ來スヤウナコトモゴザイマス、ソレヲ私ハ申シタノデアリマス

○金澤委員 私モ大臣ニ向ッテ質問スルノハ初メテアリマスカラ、或ハ社ヲ脱イデ、間違ッテ質問スル場合ガアルカモ知リマセヌガ、此點ハ未熟練ト云フコトデ御許ヲ願ヒタイモノデアリマス、是カラ段々御質問致シマス、鐵道大臣ハ非常ナ苦心ヲシテ、鐵道省ノ役人ガ山ヲ越エ、谷ヲ越エシテ大層御苦心爲スデ、地方ニ行ッテ御調ニナツタ、其結果ヲ鐵

デアテ、ソレカラ金額が幾ラデ何線アル、其確定シタル線路ヲ、此原内閣ナリ、高橋内閣ナリデ、何線變更シテ、何線結了シタト云フ、明細ナル御調ガアルナラバ參考トシテ頂戴致シタイ

○元田國務大臣 如何デゴザイマセウカ、將來ノ計畫トシテ鐵道網ヲ設ケルノデ、何ノ内閣ノトキニ何本アツカ、大隈内閣ニ於テ何本アツカト云フコトハ、格別參考ニモナルマイト思ヒマス、調ベレバ無論出來ナイコトハアリマスマイガ、併シ豫算等ヲ御覽下サリマスレバ、必ズ御分リニナッテ居ル筈ノ事ト思ヒマス、別ニ非常ニイヤガル譯デモアリマセウカ、ドモ、餘程縁ノ遠イモノノヤウニ思ヒマス

○金澤委員 參考トシテ調ベルノニ、私が調ベテ差支ナイト云フナラバ、中々日子ガ掛ッテ、調ベテカラ御質問致スト云フコトニナル、若シ鐵道省ニ於テ御調ニナッテ居ルモノガアルナラバ、ソレヲ頂戴スル必要ガアルノデアリマス、何故アレカト云フト、是ハ三十年後四十年ノ大計デアリマス、又國家ノ重要ノ問題デアルト云フコトヲ深ク信ジマスガ故ニ、其等ノ必要ガナイト云フ理由ハ、更ニ私ハ會得シナイノデアリマス

○元田國務大臣 強テ御入用トアレバ——大隈内閣カラデ宜イノデスナ

○金澤委員 大隈内閣カラデ宜イノデ——

○元田國務大臣 サウスルト僅ニ大隈内閣、寺内内閣、原内閣、唯今ノ内閣——私が申上ゲマシタノハ、大隈内閣ノ時ニ御出シナッタノハ、アナタ方ノ内閣ガ御出シナッタノデ、寺内内閣ハ最近ノ二年間、其後今度ノ内閣デスカラ、豫算ノ鐵道ニ關スルモノヲ御覽下サレバ、直グ了解スルカト思ヒマス、御入用ナレバ……

○金澤委員 入用デスカラ頂戴致シマス

○富安委員長 宜シウゴザイマス

○金澤委員 又其調査書ヲ頂戴致シテカラ、此修正意見ヲ出スカ、或ハ之ニ反對ヲ致シマスカ分リマセウカ、是デ質問ヲ打切ルト云フ譯デハアリマセウカ、取調ノ上段々御聽申スコト致シマス

○渡邊委員 連日ニ互リマシテ、各委員ヨリノ質問ニ對シ當局ヨリ懇切ニ説明ガアリマシタ、總テ了解シタノデアリマスガ、當局ノ御説明ノ如ク、今日ノ國策ヲ樹立スルニ方ッテ、最モ此敷設法ノ適切ナルコトハ、國民トシテ認メテ居ルノデアリマス、其立證トシテ既ニ四十四回議會ニ於テ、大多數ヲ以テ通過ヲ致シテ居ル、又貴族院ニ於キマシテモ、會期切迫ノ爲メニ未了ノ案ニ終テ點カラシテ推測シテ、貴族院モ正シク民意ヲ容レテ、之ヲ通過スルコトヲ信ジテ居タノデア

リマス、故ニ私ハ今マデノ當局ノ説明ヲ聽ケバ、或ル論者ノ如ク、或ハ財政ガ困難ナ爲メニ用井ラレヌ、或ハ二十年、三十年後ノ輸送ガ云々ト云フコトハ、洵ニ了解ニ苦シムノデアテ、我が國民ノ今ノ力トシテ、是ダケノ事ガ爲シ得ルノハ明カナ事デアルト思ヒマスカラ、其意味ニ於キマシテ、此敷設法ノ速ニ全委員ノ了解スルコトヲ切望スルト共ニ、此敷設法ニ關聯シテ、既ニ未成線ニ當ル所ノモノニ對シテ、自分ノ希望ナリ、政府ノ御意見ヲ、或ル一部ニ對シテ伺フノデアリマス、御承知ノ通り未成線ノ數アル中ニ於テモ、北海道ニ對スル所謂、沿線ノ縱貫線ノ速成ハ洵ニ急ヲ要スル、殊ニ又地方ノ水産陸産總テノ上ニ付テノ發展ヲ促ス上ニ付テ、餘程效力ノ大ナルコトヲ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ今山陰線ノ一番終點ニナッテ居リマス所ノ濱田、秋田、小串、秋田、之ガマダ未成線ニナッテ居リマス、豫算ヲ窺ッテモ濱田德佐ノ間ハ、今カラ十四年ニ互ッテ、千二百八十七萬圓ヲ要シ、小串秋田間ハ十六年迄ニ對シテ六百九十九萬圓ヲ要スル、所謂小串カラ濱田マデト、濱田カラ德佐ノ間ニ要スルモノガ、約二千萬圓許リデアルト云フ、之ヲ出來得ル限リ年度ヲ繰上ゲテ、幸ニモ伊佐正明市間ニ互ル線路ヲ、十一年度完成ヲスル豫算ノヤウニ伺ヒマスガ、サウスレバ其間ニ當ッテ、正明市カラ又秋ノ方ニ向ッテ工事ヲ起シテ戴キマスレバ、アノ濱田小串間デ最も人口有シテ居リ、又生産ナリ總テノ上ニ付テ產物ヲ出ス上ニ、又多數ノ人ガ希望シテ居ル大キナ地ハ秋デアリマス、此間ニ早クノ方面カラデモ宜シイガ、速成ヲ願フ意味ニ於テ、幸ニモ正明市迄伊佐カラ出デ行ッテ以上ハ、是迄工事ヲ起サレコトニナレバ、此二千萬圓近クノ金ヲ、此方面デ又費消スルト云フコトニナリマス、是ハ地方ノ希望ヲ速ニ達スルコト思ヒマスカラ、此意味ニ於テ、特ニ吾々ノ希望ヲ速ニ達スル上ニ付テノ御所見ヲ戴キタイノデアリマス、而シテ昨年請願委員會ニ於テ、正明市ノ仙崎迄延長スベク通過シテ居リマス、是モ此山陰線ノ附隨事業トシテ施行スル所ノ、政府ノ御所見ガアルカドウカト云フ御説明ヲ戴キタイ譯デアリマス

○石丸政府委員 御答致シマス、唯今ノ秋、正明市、正明市小串、秋田、此日本海ニ添エマシタ諸線ノ成工ヲ、成タケ年度ヲ繰上ゲテ、早クヤッテ吳レ考ハナイカト云フ御質問デゴザイマシタガ、當局ニ於キマシテハ、出來マスルダケ速成ヲ致ス心得デ居リマス、年度ノ繰上ニ付キマシテハ、御承知ノ通り貴衆兩院ノ御許可得ネバナリマセヌノデ、豫算ノ餘格ヲ生ジマシテ其事ガ實行ガ出來マスレバ、當局ニ於テハ急ラズ致シタイ考ヲ持テ居リマス、此秋ト正明市ノ間ハ、ハ順序カラ云ヒマス、益田、秋、正明市ト參リマス

ノハ順序デアリマスガ、益田、秋ノ間ガ非常ニ難工事デアリマスガ故ニ、早ク成タケ秋ノ工事ニ付テ、鐵道ヲ利用セシメタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ、正明市秋ノ如キハ、既ニ今年度ヨリ着手ヲ致ス考デ居リマス、ソレカラ正明市小串ノ方モ既ニ測量ヲ始メマシテ、著々線路ノ選定ヲシテ居リマスカラ、是亦御質問ノ御趣意ノ如ク急ラズ致ス積リデアリマス、秋、益田ハ今申上ゲマシタ通りニ線路ガ困難デアリマスカラ、秋、益田ノ方カラ急ラズ致シマスガ、此正明市カラ秋ニ入ル方ガズト早ク出來ルト思ヒマス、大體ニ於テ出來ルダケ速成ヲ致ス考デ居リマス

○渡邊委員 正明市仙崎ノ方ヲドウゾ

○石丸政府委員 説明ヲ落シマシタ、ソレハ將來必要ガ起キマスレバ、仙崎ハ大變魚ノ獲レル場所デアリマスカラ、是モ出ス心得デ居リマス

○正木委員 此鐵道法案ニ付キマシテハ、昨年モ私が委員ニナッテ居リマシタノデ、當時色々ノ事ヲ御尋致シマシテ、承知致シテ居リマスノデ、餘リ深ク御尋ヲスルト云フヤウナ事ハアリマセウカ、少シ忘レマシタカラ一寸御尋致シタイ、三條ニ豫定鐵道線路ヲ變更シ、又ハ豫定鐵道線路中新ニ工事ニ著手スルモノヲ定ムルコトハ鐵道會議ノ諮詢ヲ經ヘシトアリマスガ、此「豫定鐵道線路ヲ變更シ」云々ト云フ場合ニハ、鐵道會議ニ問ウテヤッテシマウ御考デアリマスガ、モウ一遍其線路ハ政府デ此法律ヲ以テ出スモノデアリマスガ鐵道會議ノ決議ヲ——諮詢ヲ取ッテ、再び議會ニ御出シタル御考デアリマスガ、ドウデスカ

○石丸政府委員 無論ハ貴衆兩院ノ協賛ヲ經マセウカレバ、法律ヲ變ヘル譯ニ行キマセウ、鐵道會議ニ諮詢ヲシテソレカラ掛ケマス、無論ハ法定シテアリマスモノハ、如何ナル場合デモ貴衆兩院ノ贊成ヲ經テ變ヘルノデアリマス、鐵道會議ニ於テ——是ハ大臣ノ諮詢機關デアリマスカラソレニ一應付スル、議會ニ出ス前ニ會議ヘ諮詢スル、サウ云フコトヲ規定シタノデアリマス

○正木委員 是ハ第一條ニモ……愈、實行スル場合ニハ、無論豫算ヲ以テモウ一遍衆議院ニ、又貴族院ニ御出シナッテ居ルガ、ソレヨリモ前ニ、若シ變更ヲスルト、今ノ御答辯ノ通りニ大分長ク掛カルモノデアリマスカラ、其中ニ又色々ナ地方ノ人ノ希望トカ、又協議ガ出マシテ、茲ニ定メテアル線路ハ一寸出來マセウ、方法ヲ變ヘテ行クト云フコトガ出來タ時ニ、豫算ヲ拵ヘテ衆議院或ハ貴族院等ニ出サヌ、前ニ變更スルト云フヤウナコトハナイノデスカ、サウ云フコトデ豫メソレヲ拵ヘテ、一方ガ實行スル前ニ當ッテ、既ニ唯今議シテ居ルヤウナ工合ニ、議院ニ御出シシタルト云フヤウナ手

就テ調ベマシタリ、或ハ又其株主ノ状態ヲ調ベタリ、色々ナ

テアルノデアリマス
○正木委員 少シ諄フゴザイマスガ、モウ一遍御参考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、先刻金澤君モ述ベラレタヤウニ、地方

鐵道ヲ架ケルト云フコトハ、相當ニムツカシイ事デ、或ハ其間ニ色々ナ事情ガアツテ、官線等ニ連絡ノ關係等モ出來テ來ル、ソレニハドウシテモ、幾ラ考ヘマシテモ、鐵道會議ト申シテ、鐵道附屬ノ御方ヲ呼シテ、御審査ニナル、其會議ニ御掛ケニナルハ必要ノ話ト考ヘ、併シ鐵道省ニ於テ、從前ノ關係モアルカラト云フコトナレバ、私ハ議論ハ致シマセヌケレドモ、大臣トシテ能ク御再考ヲ希望シテ置キマス、ドウモ是ハ鐵道會議ニ御掛ケニナルノ當然ナル、幾ラ考ヘテモソレガ當然ナルト思フ、ドウカ御再考ヲ希望致シマス、序ニ地方鐵道ノ事ニ付テ伺ヒマスガ、地方鐵道ヲ御買上ニナル時分ハ、ドウ云フヤウナコトニナリマスガ、私設鐵道ハ私設鐵道法ノ今迄アル規定ニ依リマス、地方鐵道ニ付テ買收ノ必要アリト認ムルモノハ、政府ハ其會社ト協議ノ上價額ヲ協定シ、帝國議會ノ協賛ヲ求メルト云フコトガアリマスガ、今後私設鐵道ヲ御買上ニナル時ハ、此規定ヲ適用サレルノデアリマスガ、ドウ云フノデスカ

○元田國務大臣 是ハ廢シマシタ

○石丸政府委員 是ハ御承知ノ如ク第三章私設鐵道ノ處分ノ十一條ハ廢シマシタ、私設鐵道ハ地方鐵道ノ中ニ詳シイ事ハ書イテアリマス

○正木委員 買收致シマス時分ニ價額ヲ定メルノハ、ドウ云フ順序ニナツテ居リマスガ、地方鐵道法ガアレバ、ソレヲ見レバ或ハ分ルカ知レマセヌガ、參考ノ爲ニ伺ヒマス、例ヘバ成田鐵道ヲ買フト云フ時ニ、其價額ヲドウシテ定メルノデアリマスガ

○石丸政府委員 ソレハ買收法ガアリマシテ、其方法ニ據リマス

○正木委員 大體ドウナツテ居リマスガ

○石丸政府委員 ソレハ地方ノ三年間ノ平均收益ニ依リマシテ、利子ヲ勘定シテ出シテ、ソレニ建設費ノ二十倍ノ勘定ヲ致シマス、サウシテ算出スルノデスカ、ソレハ地方鐵道法ニ詳シク書イテゴザイマス

○正木委員 サウスレバ、ソレハ一定ノ定マツ事ニナツテ居リマシテ、別ニ買ハレル方ノ地方鐵道ニ於キマシテモ、其事ニ對シテ苦情ヲ言フコトノ出來ナイヤウニナツテ居リマスガ、ドウデスカ

○石丸政府委員 無論サウデアリマス

○正木委員 成田鐵道ノ如キハ既ニ御買上ニナツテ居リマスガ如何デスカ

○石丸政府委員 スカカリ濟ミマシテゴザイマス

○正木委員 私ハ斯ウ云フ事ヲ御尋申シマスノハ、實ハ私ノ方ノ縣ニ於テ播州鐵道ト云フノガアリマスソレヲ近來買

上ヲ願フ話ニナツテ居マス、ソレニ付テ色々運動ガアリマス、又甚ダ御氣ノ毒ナ事ヲ申サユデスカ、或ハ政友會ノ關係トカ申スコトヲ唱ヘル地方ノ新聞モアリマス、播州鐵道ハ買上ヲ願フノダ、大ニ政友會ニ關係ガアルナド、云フ事ヲ書イテ居リマス、ソコデ私ハ御尋ヲスルノデアリマス、サウ云フ運動ニ依ツテ代金トカ云フコトニ區別ノ付クモノカドウカ、ソレニ依ツテソコヲ詳シク承テ置キタイト思フノデアリマス

○元田國務大臣 買上ノ事ニ付テ地方鐵道トノ關係ハ、昨年ノ議會ト存ジマスガ、改正案ヲ出シテ成ダケ遺漏ナキヲ期シテ改正致シマシタ、其標準ニ依ツテ買收スルトキニ買收ヲ致シマスガ、何ノ鐵道ヲ買收シナケレバナラヌカト云フ事ニ付キマシテハ、大ニ考慮ヲ致シマシテ、必要上買ハナケレバナラヌコトガアレバ、將來ニ於テ買收スルコトモアリマセウガ、今私トシテハドウ云フモノガアルト云フ事ハ、目下ノ所何モ極メテ居リマセヌ、ソレカラ運動ヲ騷グト云フ事、ソレハモウ鐵道ノ株ヲ持ツテ居ル者ハ騷グカ知リマセヌガ、サウ云フコトハ關係ハアリマセヌ、必要デアレバ反對シテモ買ハナケレバナラヌ、必要ガナケレバ請願シテ來テモ採用致シマセヌ、サウ云フ譯デアリマス

○正木委員 私ハ今播州鐵道ノ事ニ付テ鐵道省ニ申出テ居ルト云フコトハ、他ノ當局ノ御方ハ直接又ハ間接ニ御聽ニナツタコトガアリマスガ

○石丸政府委員 私ハマダ何モ存ジマセヌ——今他ノ當局者ニ聽イテ見マシタガ出テ居リマセヌ

○正木委員 ソレカラ先刻モ申シマシタガ、自動車ノ事デアリマス、私ガ自動車ノ事ヲ申シマス所以ハ、何分ニモ鐵道敷設法ヲ此處デ御定メニナツテモ、實行ニナル年限ガ長イ、故ニ本會ニ於テ申シマシタ通りニ、佛造テ魂入レナイヤウナ形ニ見エマシテ遺憾デアリマス、ソレデ若シ今、日々ニ進歩シツ、アル自動車ヲ以テ鐵道ヲ補タナラバ、此鐵道ハ急ニハ數クコトガ出來ナイガ、必要ナ處ニハ自動車デモ拵ヘテヤツテ、其中ニ本鐵道ヲ數クヤウニスルト云フ御決心ガ付クト、サウ云フ御考ガアルト、此鐵道網制定ノ案ガ活キテ來ル、生氣ガ付ク又大變ニ利益ガアル、ソレニ恐クハ大變ナ金ヲ御使ニナツテモ、満足ヲ與フルコトガ出來ル、鐵道網ヲ制定スル趣意ハ、交通ノ普及ヲ圖ルノガ目的デアル、其交通ノ普及ヲ圖ルコトガ、此自動車ニ依ツテ先キ見エルヤウニナツテ、來テ宜クハナイカト思ヒマス、實際又利益モ十分ニアリハシナイカト思ヒマス、澤山金ヲ費シテ山ノ中ニ鐵道ヲ敷カナイデモ、自動車ヲ通ハセレバ人モ満足シテ居ル、ソレデサウ云フ御考ガアレバ、鐵道網ノ御制定モ難有イガ、其中ニ又鐵道モヤツテ下サルデアラウト云フコトニナツテ、大變此案ノ爲ニ

宜シクハナイカ、又必要デハナイカト思ヒマス、ソコデ私ハサウ云フ御考ハ無イカ、併セテ伺ヒタイト思ヒマス、此法案ハ衆議院ヲ通過シテモ、貴族院ヲ通過スルカドウカ分リマセヌガ、孰レニシテモ鐵道網ヲ作ルコトハ必要デアル、而モ鐵道網ガ無クとも、鐵道ヲ數カナケレバナラヌコトハ明カデアル、ソレデ自動車ヲ數クコトニナレバ、一般人民モ喜トシナケレバナラヌト存ジマスガ、其邊ニ付テ鐵道省ノ方ノ御考ハ如何デスカ、次官ノ御話ニ依リマスル、其邊ノ調ハホツタラカシテアルト云フ御話デアリマスガ、十分亞米利加等ノ狀況ヲ御調ニナレバ、直グニ御分リニナツテ直グニ出來ルト思フ、ソコノ所ハ鐵道者ニ於テ、御考ニナツテ居ルカ居ナイカト云フコトヲ聽クノデ、一番近イ話デアルノデスカ、ドウデスカ

○石丸政府委員 御尤ノ御話デ、ソレハ鐵道省デモ決シテ棄テ、ハナイノデスカ、補助機關トシテハ宜イガラウト云フダケニハ考ヘテハ居リマスルガ、奈何セン費用ガ掛ツタリシテ、ドウモ一寸直グ之ヲ計畫シテ線路網ノ足シニシテ考ヘルト云フダケニハ、連モ未ダ參リマセヌ、ソレデ仰ノ如ク調ヘル考ガナイカト云フコトニ付テハ、調ヘル考ハゴザイマス、調ヘル積リデアリマスルガ、未ダ自動車ヲ以テ補助機關トシテ、山間邊リノ鐵道ヲ掛ル代リニ、自動車ヲ以テヤルト云フ程、唯今ノ鐵道省デハ自動車ヲ認メテ居ナイ、ソレハ御承知ノ通り、此日本ノ地形モ亞米利加邊リハマルデ違ヒマスカラ、之ヲ補助機關トシテハ、前ニ申上ゲマス通りニ自動車ノ力ヲ借リタイト思フ、都會附近ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、一寸茲ニ先刻御話ガアリマシタカラ、自動車ノコトヲ調ベテ見タノデアリマスガ、先刻ノ正木君ノ御話ノハ、人間ニ付テガラウト思ヒマスガ、連モ荷物ヲ運ブト云フコトニナルト、鐵道ノヤウニ廉イ運賃デ運ブト云フコトハ絕對ニ出來マセヌ、是ハ茲ニ明言シテ置イテ宜シウゴザイマス、十四人乃至十七人乘一臺ヲ造ルニ要スル費用ハ、六千五百圓乃至八千圓掛ル、十四人乃至十七人ヲ運ブ一臺ヲ造ルニ、先ヅ此位掛ル、若シ其自動車ヲシテ、例ヘバ三越東京驛カラ自分ノ店マデ運シテ居ルノガアリマスルガ、アレダト云フト八千圓デハ出來マセヌ、一万五千圓乃至一万六千圓ヲ要スル、ソレカラ之ニ要スル一箇年ノ經費ハ、二萬圓ニ代ダケデモ千二百圓掛ル、ソレカラ運轉手給料ガ先ツ二人ト致シマシテ、約二千二百圓許リ掛ル、修繕費ガ新造ナレバ二三年ト見込ミマシテ、年度ニ約二千圓ヲ要スル、是ハ實際ノ商賣用ノヲ調ベテ見タノデアリマスガ、斯ノ如キモノデアリマシテ、十四人乃至十七人ヲ運ブ爲ニ、免ニ角「ドライバー」ヲ二人要スル、汽車ナレバ一列車ニ機關方ト、火夫ト、車掌ガ何人附キマスガ——四五人附キマスガ、ソレデ以テ何百人モ運

ブノデアリマスガ、此自動車ト云フモノハ其車々ニ一ツノカヲ持テ、ソレヲ動かカスモノガ、必ズ一ツ毎ニ要ルノデアリマスカラ、一ツノ列車ヲ造ル爲ニハ、ドウシテモ車掌ガ二三十人、要ルノデアリマスカラ、人件費ダケデモ大變デアリマス、此間松木君ガ鐵道院ニ居ラレマシタ時分ニ、東海道ヲ自動車デアル一ノ案ヲ立テマシタガ、之ヲ以テ見マシテモ、如何ニ金ガ掛ルコト云フコトガ分リマス、大正二年ニ一度調へ掛ケテ見マシタガ、到底ハ日本ノ今日ノ有様デハ、鐵道ニ置換ヘテ之ヲヤルト云フコトハ到底ムジカシイ、ソレ故ニ鐵道ハ鐵道デズン、ヤテ、補助機關トシテ段々ニ之ヲ進メテ行クヨリ外ニ仕方ガナイ、亞米利加ノ如キハ、鐵道ハ二十六万哩モアリマスシ、自動車ノ數ハ先程植原サンモ言ハレマシタガ、一昨年ノ統計ニ依リマスルト十三人ニ付テ一臺、ソレカラ家ノ數カラ言フト二軒半ニ付テ一臺ト云フコトニナテ居ル、所ガ昨年秋向フカラ歸リマシタ人ノ話ヲ聽キマスルト六人ニ付テ一臺ト云フ割合ニナテ居ル、是ハ非常ニ進歩シテ居ル、ソレハ進歩スル譯デアリマス、道ハ非常ニ良イシ、平タイシ、サウシテ長イ、人ガ多リマスノ、時間ガ無イカラ自動車デ自分ノ行キタイ所ニ乘テ參リマス、サウシテ殊ニ工合ノ宜イノ「ガソリン」ガ非常ニ宜イ、ソレデアッテモ向フデハ高イト言テ心配シテ居ルガ、日本邊リカラ較ヘマスルト非常ニ廉イノデアリマス、「ロスアンゼルス」カラ北方行ヘクニハ、ソレガ爲ニ汽車ノ旅客ガ減タト云フコトガ書イテアリマシタガ、事實ヲ聞イテ見マスルト、汽車モ良イ列車ナレバ一杯乗テ居ルヤウデアリマス、唯日本ノ鐵道ニ於テモ補助機關ニ付テハ、モウ斷ヘズ考ヘテ、自動車モソレニ使テ居ルヤウナコトデアリマス、唯ダ置換ヘテ線路網ノ系統ニアルモノヲ、自動車デヤルコトヲ調ベルト云フコトハ、是ハ二寸出來ナイト思ヒマス、將來ニ付キマシテ、自動車ノ調ベ其他ノ事ハ、十分怠ラズ致ス積リデアリマス、正木君ノ御質問ニ對シテ是ダケ御答致シテ置キマス

○正木委員 無論十四人ノ自動車デモ、一遍列車ノ行ク間ニハ五遍モ行ケバ、矢張七十人ハ運ベルコトニナル、必シモ車ガ少サイトバカリ云ヘマセヌ、汽車デアレバ一時間ニ一遍行クダケデアリマスガ、自動車ナレバ十分間ニ一遍行クコトガ出來ル、今ノ石丸サンノ御話デアリマシタ、其邊ハ私ノ考トハ少シ違フ、石丸サンハ無論交通ノ事ハ精シイノテ、私ノ方ハ自動車ノ事ハ多少知テ居リマスルガ、鐵道ノ事ハドウカ知リマセヌ、ソレノ利害得失ハドウナルカ知リマセヌ、石丸サンハ汽車ノ専門家デ、自動車ノ専門家デハアリマセヌカラ、段々御調ニナレバ好イ事ガ出來ハシナカト思ヒマスカラ、ソコヘ進ンデ御調ヲ願デ、私ノ今申シマシタ通り、成ベ

ク鐵道網ノ運輸交通ヲ早クヤリタイ、サウシテ地方ノ人間ニ早ク便宜ヲ與ヘテヤリタイ、斯ウ云フ考ヲ御立テ下サルコトガ必要デアルト思フ、サウナッテ來レバ此大綱ガ活キテ來マス、斯ウ云フ考デアリマス、ドウゾ此事ハ今年ノ事デアリマセヌ、モウ少シ後デモ宜ウゴザイマスケレドモ、ソナニ見込ノナイモノデモナイ、棄置ガズニ、モウ少シ實際ニ出來ルヤウニ願ヒタイ

○石丸政府委員 承知致シマシタ

○正木委員 ソレカラ序ニ一ツ御聽シテ置キマスガ、私ノ淡路ノ國ノ鐵道ニ付テ、網ノ中ニ御制定ニナテ居リマスガ、是ハ私ガ中スマデモナク、一ツノ島デアルカラ運レテ居ル、國民黨ノ湯淺君ノ如キハ、昨年モアナン處ニ鐵道ヲ數カナクテモ宜イト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、實際人口ハ二十萬カラアリマス、ソコデハ參考ノ爲ニ承知シテ置キタイノデアリマスガ、能登半島、房州半島ト、淡路ト較ベテ、ドウ云フコトニナテ居リマスガ、若シ淡路ニシテ陸地ニ續イテ居ラナラバ、鐵道ノ敷設ハ出來テ居ルデアラウト思フ、人口ハ二十萬アラ、又議員トシテハ廣岡君ト二人出テ來テ居ル、大キナ土地デアリマス、疾クニ輕便鐵道デモ御架ケ下サラナケレバナラヌ譯デアリマスガ、今迄運レタト云フコトハ、一寸一里程ノ海ヲ隔テ居リマスガ、ア、云フコトニナテ居ルノデアリマセウガ、參考ノ爲ニ能登房州ノヤウナ處ト、人口、物產其他ノ事ヲ比較ニナテ居リマス、一ツ御取調ヲ願ヒタイト云フコトヲ請求致シマシテ、私ノ質問ハ此位ニシテ置キマス

○石丸政府委員 今ノ淡路島ノ人口ハ二十五萬デアリマシテ、私ハ此前斯ウ云フ事ヲ申上ダタノデアリマス、丁度日本ノ國有鐵道ハ六千萬人ニ割ルト、六千哩出來テ居ルカラ、一萬人ニ付テ一哩持ッノガ公平デアル、淡路島ハ鐵道ヲ持ッハ一萬人ニ付テ一哩アルカラ、二十五哩ダケ持ッ權利ヲ有テ居ル、ソレ故ニ是ハ近キ將來ニ於テ架ケルコトハ、國有鐵道トシテ公平デアルト云フコトヲ、或ル機會ニ話シタコトガアルガ、ソレハ其通りデアリマシテ、能登ノ人口ハ一寸覺エマセヌガ、能登モ亦日本帝國ノ本土デアッテ、國有鐵道トシテハ、矢張公平ニ餘澤ヲ其人民ガ持ツト云フコトハ、是ハ私ハ必要ダト思フ、ソレ故ニ佐渡ニ於キマシテモ造ッヤウナコトデ、サウ云フ次第デアリマスガ、成タケ公平ニ政府ハ國有鐵道ヲ造ッヤリタイ、今ノ線路網ガ是ガ一通リ出來上リマスレバ、大體ノ所ハ皆ナ恩澤ヲ受ケテ、隨テ國ノ富モ平均ニナッテ出テ、又平均ニ入ッテ來ルノデアリマス、サウ云フ考ヲ致シテ居リマス

○富安委員長 此次ハ近藤君デゴザイマスケレドモ、餘儀ナキ用ガアッテ、先キニ延シテ吳レト云フ御話ガゴザイマスカラ、近藤君ヲ止メマシテ戶符君

○戶符委員 大體ノ質問ハ盡キテ居リマスガ、私ハ一寸希望ヲ申シテ、尙ホ御意見ヲ伺ヒタイ、要スルニ此鐵道ノ速成ヲ望ムコトハ言フマデモナイ、殊ニ鐵道網ハ詰リハ財源問題ニ入ッテ來ルノデアル、デ私ノ考ハ改良費ト建設費ノコトニ付テ一寸聽キタイ、丁度本年度豫算デハ、建設費ノ方ハ、七百萬圓許リ増シテ居ルガ、改良費ノ方ハ、一千七百萬圓カラ減ジテ居ルガ、是マデノ改良費ト建設費トヲ比較シテ見マスルト、殆ト三分ノ二ハ改良費デゴザイマス、建設費ノ方ハ三分ノ一ニナッテ居ル、私ノ考デハ此益金ヲ以テ、所謂建設費ニシタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル、改良費ニ對シテハ經濟界ガ直シテ來マシタカラ、無論八千萬圓カ、一億萬圓以上ノ公債募集モ出來テ居ルガ、此鐵道公債ノ募集ノ如キハ、私ハ昨年豫算委員トシテ希望ヲ述ベテ置キマシタガ、鐵道公債ト云フモノハ、モチツ大藏省ノ方デ奮發シマシタヒタイ、ソレデ本年度ハ昨年ヨリ一千七百萬許リ減ッテ居リマス、是ハ全部ト云フ譯ニハ行キマスマイガ、大體ノ鐵道ノ方針トシテ、建設費ト改良費ノ差等ガ甚ダ多イ、ト云ッテ改良シナクチャアナラヌ點モ澤山アリマセウガ、是ハ私ハ決シテ其改良費ヲ減ズルト云フ意味デハアリマセウガ、改良費ハ是ハ公債ヲ募集シテヤリ、益金ハ此建設費ノ方ニ之ヲ全部用井タイ、斯ウシマスレバ、最デ昨今ト今年ト比較シテ見レバ收入ハ増シテ居リマスガ、此割テ經濟界ガ直シテ來マスレバ、マダ一益金ハ殖エテ參リマス、要スルニ建設費ト改良費ノ差ガ餘リ多イ、モウナッテ建設費ノ方ヲ増シテ置ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ッテ居リマス、其邊ヘハ、是ハ當局者ガ改良費ヲ減ズコトハイカヌト云フコトデアリマセウガ、改良費ニ對シテハ、所謂其公若クハ借入金デヤッテ、益金ヲ以テ此建設費ノ方ニ充テラレルヤウニシタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスガ、其邊ハ當局ノ御意見ハ如何デアリマセウカ、伺ヒタイ

○元田國務大臣 本年ノ豫算ハ一般ニ政府ハ緊縮方針ヲ執リマシタ、鐵道省ハ豫定ノ繼續事業ハ繰延ベマセヌ範圍ニ於キマシテ立テ、居リマス、新ニ高ヲ定メタノデハゴザイマセヌ、豫定ノ事業ノ本年度ニ係ルモノニ對シテ、是マデ定メテアリマシタ所ノ金額デ、物價騰貴ノ爲ニ足ラナイモノヲ加ヘテ、兩方ニ出テ居ルノデアリマス、即チ其本ハ御協賛ヲ經テ居ル繼續事業デアリマス、何等變更ヲ加ヘテナイノデアリマス、ソレハ是非仕上ダナケレバナラヌ、繰延ベデハナラヌ今一步進ンデ新ナルモノヲ加ヘレバ、尙ホ可ナリデアリマスケレドモ、今日ノ所デハ大藏當局ノ意見モアリマス次第デ、豫定ノ事業ダケト云フモノハ繰延ベナイ、斯ウ云フ範圍ニ

於テ豫算ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ唯今財源ニ付テ御希望ガゴザイマシタ、是ハ中々ムツカシイ問題デアリマシテ、或ル議員ノ御方ハ、改良ヲ非常ニ主張スル、或ル議員ノ御方ハ、普及ノ方ヲ急ガレ、建設ニモトツカフ盡セト言ハレマス、當局ニ於キマシテハ、當局ノ見ル所デ改良ハ主トシテ利益ノ財源ヲ以テ、適當ニ安排ヲ致シテ居ル次第デアリマス、此上鐵道ノ如キ有利ノ事業ハ、公債ヲ餘計發行シテモ、改良モ普及モ進ムヤウニ爲シタイト云フ希望ノ御方モアリマス、鐵道省當局トシテハ、御同感デアリ併シ鐵道バカリガ國務デアリマセマカラ、已ムヲ得ズ總テノ方面ノ安排ヲ見マシテ、其間ニ鐵道ニ費シ得ルダケノ經費ヲ成ベク餘計取リマシテ、計畫ヲ立テルヨリ外致方ハナイ、即チ計畫ト申スト語弊ガゴザイマセウガ、工事ヲ進メルヨリ外ハナイ、是ダケ御答シテ置キマス

○戶狩委員 當局トシテハ現在ノ所デハサウデアリマセウガ、ズット前ニ、總額建設改良費五六千万圓ノ時代ガアツテ、其時ハ建設費ト改良費ト餘リ差ガナカッタ、所ガモウ殆ド二億ト云フ改良費ト、建設費一億七千ト云フコトデ、昨年ハ二億何百万圓ト云フコトデ、此膨脹スルノハ是ハ當然デアツテ、吾々ハモトテ奮發シテ貴ハナクナラヌト考ヘテ居ル、ソコデ改良費ハ成程必要ト云ヘバ必要デセウ、是ハ誰モ異存ハナイ、ケレドモ建設スル方ハ、各地方人ガヨリ以上希望シテ居ルノデアル、ソレハ無論彼方ニモ向ケル、此方ニモ向ケルト云フコトハムツカシカラウケレドモ、少ナクモ益金ノ全部ガ出來ナケレバ、半々位ニシテ貴ヒタイノデアル、例ヘバ二億萬圓ナラバ、一億萬圓ハ改良費ニ充テ、一億萬圓ハ建設費ニ充テ、斯ウ云フ風ニシテ貴ヒタイノデアリマス、決シテ極端ニ言フノデアリマセウ、要スルニモウチツ建設費ヲ増シテ貴ハナケレバ、將來國民ノ希望ヲ充タス譯ニハ行カヌ、斯ウ云フ考ヲ持テ居リマス、併シ私ハ今茲ニ當局者ノ御意見ヲ伺フノデアリマセウ、モウチツ建設費ノ方ヲ増シテ貴フコトヲ希望スルノデアリマス、今ノ大臣ノ御意見ハ、現在ノ所デハ已ムヲ得ナイト云フ事デアリマセウ、ケレドモ、是非サウシテ貴ハナケレバ、吾々ハ満足出來マセウカラシテ、建設費ト改良費ノ權衡ハ、モウチツ建設費ヲ増シテ貴ヒタイ斯ウ云フコトヲ希望シテ置キマス

○富安委員長 鶴澤君ガ質問ヲ保留シテゴザイマスカラ、時間モ少シゴザイマスカラ、鶴澤君ニ質問ヲ許シマス
○鶴澤委員 質問ニ先タチマシテ、委員長ニ一寸御頼ヲシテ置キタイト云フコトハ、先刻植原君ノ質問ニ依リマシテ、更ニ私ノ疑義ノ大ナルモノアルコトヲ發見致シタノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、先以テ此所謂交通上ノ一部ノ仕

事ヲ扱テ居ル所ノ遞信大臣——海運交通ヲ扱テ居ル所ノ遞信大臣、及道路ノ取扱ヲサレル所ノ内務大臣、即チ交通上ノ問題ヲ解決シマスル場合ニ於キマシテハ、此兩大臣ノ出席ヲ求メマシテ、是等ノ意見ヲ確メル必要ガ大ニアルト考ヘマス、是モ併セテ此次ノ委員會ニ御出席サレルコトヲ、委員長ヨリ御要求サレタイト思ヒマス、更ニ鐵道大臣ニ御尋テ致シタイノデアリマス、其前ニ一言大臣ニ申上ダタイノハ、先程植原君ノ質問ニ對シマシテ、鐵道大臣ハ既ニ御答ヲシテアル問題デアラカラ、重ねテ答辯ヲスル限リデナイト云フ事デ打切りマシタコト、數回ニ及ンデ居リマス、ヤウデアリマス、私ガ植原君ノ質問ヲ聽キマス、其答辯甚ダ中ラザルモノアルヲ私ハ感ジテ居リマシタ、其爲ニ植原君ハ重ねテ御質問ヲサレタヤウニ私ハ聽取リマシタノデアリマス、鐵道大臣ハ其等ニ向ッテハ御答ガ無ク、既ニ答辯済ノモノナルカノ如クニシテ打切ッタト云フコトハ、私ハ縱シ假ニ鐵道大臣ガ既ニ御答ニナッタコトハ承知スルモ、議員ノ質問ニ對シマシテハ、成ベク懇切ニ答辯セラレタ方ガ、雅量アル行動ト認メレルノデアラコトヲ、私ハ遺憾トスルノデアリマス、(ソレハ質問デヤナイト呼フ者アリ)大臣ニ注意スルノデス、我輩ハ質問ノ前ニト云フコトヲ前提ニ致シテ居リマス——隨テ私ノ質問致シマスル事ハ、或ハ鐵道大臣ヨリハ御答ニナッタノデアルト云フ御答ガアルカモ知リマセウケレドモ、或ハ重複ノ質問ヲスルヤウナコトガアルカモ知リマセウケレドモ、是ハ豫メ雅量ヲ以テ御答ヲランコトヲ願ヒタイト云フノハ即チ植原君ガ質問致シマシタ問題ニ付テ、先以テ御質問致シタイノデアリマス、私ガ此處デ申スマデモナイノゴザイマセウ、先般來華府會議ガ開カレマシテ、四國協約ナルモノガ成立シタノデアリマス、此結果ト致シマシテ、洵ニ表面上ハ平和ヲ裝、テ居ルノデアリマセウ、治ニ居テ亂ヲ知レバ、凡ソ國ト國トシテモ、又人ト人ト致シマシテモ、豫メオ前ト俺ガ喧嘩ヲシヤウデヤナイカト云フテ起ルモノデハナイ、問題ノ衝突ノ結果、騷擾所謂戰爭、若クハ喧嘩ヲ惹起スト云フヤウナ事ニナルノデアリマス、有、有事ノ日ノ考ハ、寸時モ忘レルコトノ出來ナイ事デアラウト思ヒマス、此考ハドウシテモ國民トシテモ、政府トシテモ、持タナケレバナラヌト思フノデアリマス、況ンヤ御承知ノ通りニ英米ノ十、十二對スル我ハ六デアリマス、而モ我國ニ於テハ十、十二對スル七ニ非ラザレバ、即チ之ニ對抗スルコトハ出來ナイト申シテ居タニモ拘ラズ、遂ニ六ト云フコトニナツテシマッタノデアリマス、之ヲ聞キマシタル所ノ國民ハ枕ヲ高ウシテ、安ラカニ眠ルコトガ出來ナイノデアルト云フコトハ、私ガ茲ニ申ス迄モナイ、然ラ

バ如何ニシテ平和ノ間ニモ是等ノ即チ防備ノ考ヲ持タナケレバナラナイカ、是ハ國民同士ニ於テ、常ニ考ヘテ置クベキ事デアリマス、何ヲシタラ宜カラウカ、軍艦ハ既ニ二十、十二對スル六デアアル、軍艦ノ製造ハ出來ナイノデアル、此レノ備ヲ持テ居ルコトハ、出來ナイノデアアル、ドウシテ宜イノデアアルカソレニハ一ツ商船ヲ澤山造ツテ、此周圍ヲ守ルト云フノモ結構デハナイカ、又一ツニハドウシタラ宜カラウカ、一ツニハ遞信大臣ノ扱テ居ル所ノ海運問題、即チ交通上ノ爲ニ、四面海ノ我國ノ周圍ヲ、高速力ノ汽船ヲ造ツテ、常ニ產業ノ爲ニ、其他文明ノ爲メニ、此交通政策、海運交通政策ヲ十分ニ施シテ居タナラバ、他日一朝有事ノ日ニ此汽船ヲ用キルト云フコトモ、極メテ必要ナル施設デアルト云フコトハ、識者間ニ於テ夙ニ認メラレテ居ル事實デアリマス、況ン閣臣ノ一人タル所ノ鐵道大臣、船舶ヲ取扱フ所ノ任ニ非ズト雖モ是等ノ御考ハ必ズ持ッテ居ラレラウト思ヒマス

○富田委員長 ソレハ質問デスガ、御意見ノヤウデスガ
○鶴澤委員 質問デアリマス、是カラ行クノデス——若シ之ヲ此海運政策ヲ行ツタ場合ニ於テハ、港灣ノ如キモ非常ニ澤山出來ル、出來ナケレバナラヌ、乗降者ノ便ヲ圖リ貨物ノ集散ヲ取扱フ上ニ於テ、ドウシマシテモ海運政策ノ結果トシテ出來ルノデアリマス、隨テ集合地ノ變化ハ即チ植原君ノ問フ所ノ變化ヲ來スノデアリマス、日進月歩ノ今日デアアル況ヤ二年三年經タラ、非常ナル日本國ニ於テモ、即チ都ノ變化ガアリマス、昨日迄山間僻地ノ部落ト思ッテ居タノガ、三年經テ行ッテ見ルト云フト、或ハ數千軒ノ家屋ガ建テ特ニ委員長デモ、野田君デモ、元田君デモ、九州人デアリマスガ、御承知ノ通り福岡縣ノ如キハドウデアリマセウカ、福岡縣ノ如キハ市ガ多分七ツモハツモ出來テ、八幡市ノ如キハドウデス、非常ナル進歩發達ヲシテ居ル、サウ云フ風ニ三年三年デモ、非常ニ變ツテ來ル場合デアリマス、所謂鐵道ノ敷設ニ付テモ、變化ガ自ラ非常ニ來ルモノ見ナケレバナラヌ、然ルニ鐵道大臣ハ此線路ハ變更スルモノデナイ、若シ變化シテ必要ガアレバ、又再ビ架ケルト云フケレドモ、其變化ガ例ヘバ半里カ一里ナラ必ズ並行線ニナルノデアル、鐵道ヲ架ケルノニ收支ヲ考ヘナイト鐵道大臣ハ言ハレマス、國ノ財產ヲ扱フ上ニ於テ、即チ何處ノ場所デモ收支ヲ構ハズニ鐵道ノ敷設スルコト云フコトハ出來ルモノデナイ、國ニハ國ノ矢張財政カラ打算ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、場合ニ依リ場所ニ依ッテハ、成程並行線モ是ハ自然ニ出マセウケレドモ、大體ニ於テハ其變化ニ伴ヒタル敷設ヲシナケレバナラヌ、植原君ハ之ニ依ッテ問ウタノデアリマス、即チ自動車ガ出來道路ガ完全ニ修築サレテ、自動車ガ最モ盛ニ

ナレバ、貨物ヲ專ラトシテ扱フ所ノ地方ニ非ザル多クノ乘客ヲ輸送スル場合ニ於テハ、是ハ汽車ニ非ズシテ寧ロ自動車ノ方ガ利便ナリト云フカ知レマセヌ、周圍ノ即チ沿岸頗ル多クノ船ヲ以テ交通サレ、港灣ノ變化即チ交通ノ便ガアリマス場合ニ於テハ、此道路、此鐵道ノ敷設モ自ラ變ルノデアリマス、二年カ三年デモ變ルベキ所ノ今日ノ情勢デアリノニ、況ヤ三十年、五十年後ノ此計畫ヲ茲ニ立テルト云フコトハ、大ナル考慮ヒデハナカラウカ、之ニ對スル鐵道大臣ノ考慮ハドウデアリカ是ガ即チ植原君ノ質問デアルト共ニ、又私ノ先程來鐵道大臣ノ御答辯ガ甚ダ當ラザルト思フノハ此點デアリマス、此疑ニ對シマシテ既ニ御答ニナタト云ウテ、御答ニナラナイナラソレ宜イノデアリマスガ、私ハ先刻來植原君ノ質問ニ當ラザルト思フト共ニ私ノ疑擬モ茲ニ存スルノデアリマス、一應ノ御答辯ガアレバ幸甚此ノ上ハナイノデアリマス

○元田國務大臣 只今ノ御質問ニ對シマシテハ、植原君ニ對スル質問デモ答ヘテ居ルト思ヒマスガ、其他ノ方ノ質問ニ對シテモ、私ハ矢張同様ニ諒解ノ出來ル事ヲ、屢繰返シテ居ルト私ハ思ヒマス、私ハ成ベク深切ニ何過デモ繰返シテ御答ヘテ致シタイノデアリマスガ、其方針ヲ取ツテ今日ノ午前進居ッテデアリマス、ドウモ外ノ委員ノ方ノ、前二初メカラ御出席ニナッテ御聽ニナッテ居ル方ハ、何過繰返スカト云フヤウナ私語モ私ハ承テ居ル、誠ニ御迷惑デアラウト思ヒマス、餘リ重ナル所ハ答辯ヲ省クト云フコトヲ申上ゲタノデ、決シテ不深切ノ意味ヲ持ッテ居リマセヌ、ソレ故御諒解ニナルベキ答デアル、答辯ヲ致シテ居リマスルガ、モウ一回鶴澤君ニ敬意ヲ拂ッテ簡單ニ申上ゲマセウ、植原君ハ自動車モ出來ルシ、道路モ開ケルダラウシ、國ノ經濟狀態モ變ルダラウカラシテ、此鐵道網ト云フモノハ、多ク不用ニナリハシナイカト云フノガ歸著ノ御論點デアリマス、是等ノ點ニ考慮ヲ費シタカト云フ理由デ御質問ニナタ、無論考慮ヲ費シマシテ、植原君ハ米國ノ有様ヲ御引合ニ出シマシテ、自動車ガ何十萬アルトカ、斯ウ云フコトヲ御述ニナリマシタガ、亞米利加ノ繁榮ニ至ッテト云フモノハ、非常ナモノデアアル、米國ノ事ニ付テ御詳ウゴザイマスカラ、御説明モゴザイマシタガ、帝國モ亦米國ノ通りニナルデアラウ、爲サナケレバナラヌト私ハ信ジテ居リマス、而シテ今日ノ米國ハ自動車ガ何十萬、補助機關トナッテ居ルニ拘ラズ、鐵道ハ日本ノ十幾倍アルノデアリマス、日本マダ屆カザルコト甚ダ遠シ、假ニ亞米利加ノヤウニ進歩ヲ致シタト見マシテ、此自動車ガ何十萬出來マシテモ、鐵道ハ十幾倍ナケレバ是ト併行スルコトハ出來ナイ、自動車ノ事ニ付テモ追々盛ニナルコトヲ成ダケ希望致シマスルケレ

下モ、道路モ日本デハ自動車ヲ扱フニ道ガ十分適シテ居ル所ガ甚ダ少イ、是ガ十分ニ行クヤウニナッテモ、亞米利加ノ例ニ引ケバ、日本ノ鐵道マダ十倍以上敷カナケレバナラヌト云フ今日デアリマシテ、亞米利加ニ於テモ未ダ鐵道ヲホジクリ返ヘシテ自動車ニ代ヘテハ居リマセヌ、益鐵道ハ進ンデ居リマスカラ、日本ガ將來進ンデモ、此線路網ハ必要デアルス様ニ當局ハ確信シテ提案ヲ致シテ居ルノデアルト云フコトヲ御答シタノデアリマス、ソレデ私ノ答辯ノ趣旨ハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ唯今御述ニナタ中ニハ、反對ノ御意見ガ十ノ八ヲ占メテ居ル、御意見ノ反對ハ仕方ガアリマセヌ、是ハ討論ノ時二十分御討論下サルヤウニ願ヒタイ、質問ト申シマスレバ誠ニ簡單ニ出來ル、本會ニ於テ濱口君即チアナタ方ヲ代表シタ濱口君ノ質問ヲ承リマシテ、成程長カッタ、長カッタレドモ、問題ノ要領ヲ摘ンデ申ストキニハ第一、第二、第三、第四ト云フヤウニ簡結ナル點デ分ル、演說ヨリ尙能ク分ルノハ、此簡明ナル論點デアリマス、私ノ答ガ能ク分ラナイト云フ御話デアリマスレバ、亞米利加ノ如クニ日本ガ進ンデ行ッテ、陸ニ自動車ガ澤山出來テ、殖産工業モ非常ニ開ケタトスルナラバ、矢張亞米利加ノヤウニ鐵道モ必要デアラ、決シテ此鐵道網、杜撰ニ非ズ、將來必要デアルト云フコトニナルノデス、尙ホ其以上ニ政府デハモウ少シ進ンダ考ヲ持ッテ居リマス、幾ニ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ開墾助成法、是ハ成ベク自國ノ殖産工業ヲ獎勵シタイ、地方開發ヲシタイト云フノデ、國カラ補助金迄出シテ居ラセタイト云フコトニ、上下兩院、政府一致シテ成立シテ居リマス、此法律ハ出來マシタガ、荒蕪ノ地方ニアッテ茫々タル原野ハ如何ニ助成金トシテ、一町歩ノ開墾費ニ補助ヲ與ヘラレマシテモ、交通機關ガ出來ナケレバ十分ニ開發スルコトハ出來ナイノデアリマス、亞米利加ノ如クニ將來盛ニナッテ來ルダラウ、其時ト仰シヤルデスガ、今日ハ此鐵道ヲ架ケル一ノ理由ハ、地方開發モ在ルノデス、此鐵道網ヲ拵ヘ、サウシテ將來帝國ノ發展ト、鐵道ノ隆盛ヲ期スルト云フ意味モ含マッテ居リマス、決シテ今回ノ法案ハ無用ノ線路ヲ出シタトハ思ヒマセヌ、又サウ斷定スルコトハ出來ナイ、又只今並行線ガ出來ルダラウト云フコトヲ言ハレマシタガ、並行線ガ出來ルヤウニナレバ大變ニ宜イト思ヒマス、一本デハ並行線二合ハヌ、二本モ架ケナケレバナラヌト云フコトカラ、二重ノ線路ヲ架ケルコトニナルノデアリマス、サウ云フ繁榮ナル所ニ日本ノ開發ガ進ンデ來タナラバ、國家ノ爲大慶デアアル、二本ハ愚カ三本ノ並行線デモ、物資ノ輸送ガ仕切レヌト云フコトニナタナラバ、此上モナイ大慶デアリマス、サウ云フ事ハアリ得マ

イ、ドウカ一日モ早ク鐵道ヲ敷設シテ、地方ノ開發ヲ致シ

ナス様ナル盛運ニ向ハセタイト云フコトモ、一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、ドウカ御質問ニ對シテ答辯ヲ拒絶スルヤウナ、不深切ヲ致スヤウナ考ハ私持ッテ居リマセヌカラ、此點ハ鶴澤君ニ宜シク御諒承ヲ願ッテ置キマス

○中西委員 議事ノ進行ニ付テ一言致シマス、私ハ質問ヲ遮ルノデアリマセヌ、段々前日來ノ御質問モ謹聴致シテ居リマス、少シモ私共必要ナル質問ヲ遮ルト云フ觀念ハ持タナイ、成ベク慎重ニ各種ノ方面カラ、此案ガ審議サレルコトヲ寧ロ望ムノデアリマス、サリナガラ此案ハ既ニ昨年憲政會ノ諸君モ、全部各線ニ亘ッテ御賛成ニナタバカリデハナク更ニ竿頭一步ヲ進メテ、豫算ノ許ス限リニ於テ速成ヲ願フト云フ附帶決議ヲ憲政會ノ諸君カラ提議サレマシテ、吾々モソレニ同意ヲ表シタ程デアル、ソレ程此鐵道ノ速成ニ付テハ、熱烈ナル希望ヲ持ッテ居ラレタ事、間ニ昨年ノ事デアリマス、今年必ズ昨年通りノ議論デアラフナラヌト云フコトヲ、今吾々ガ此機會ニ於テ言フノデアリマセヌケレドモ、ソレ程ノ事デアラフノデアリマスカラ、願クバ此案ニ向ッテ誰モガ承認ヲ必要ナル注意點デアルト云フ事項ニ付テ、十分ニ御質問ヲ盡シテ戴キタイト、吾々承テ居リマシテ、例ハバ植原君ノ如キ反對ヲ既ニ聲明シテ、之ヲ前提トシテ質問サレル如キニ至ッテハ、質問ノ體ヲ得テ居リマセヌ、鶴澤君ハ贊否ハ未ダ言明サレテハ居リマセヌガ、先日來ノ御質問ノ内容ヲ考慮致シマス、大分ニ昨年附帶決議ヲ主トシテ主張サレタル其御氣分ト、距離ガアルヤウニ考ヘ、吾々承ッテ居リマシテ、最早純眞ナル氣分ヲ以テ、此案ヲ御審議爲サルモノトハ受取レナイト感ジタル時ニ於テハ、質問終結ノ動議ヲ提出シナケレバナラヌト思フ、數日間ニ涉リ質問ガマダアルト云フコトヲ此間豫言サレテ居リマスガ、ソレ程ノ多數ナル質問ガアルナラバ、願クハ最も簡單ニ其要領ヲ得ルコトニ御努メヲ願ヒタイ、之ニ反シテ漫ニ議論ヲ重テ、時間ヲ費スト云フコトガ、餘リニ吾々ニ深ク認メラレル場合ニ於テハ、不本意ナガラ我等ハ誠意ニアラザル質問トシテ、打切りノ動議ヲ提出セザルヲ得ヌト到來スルコトヲ遺憾ト致シマス、故ニ此以後ノ質問ニ付テハ、願クハ一層ノ御注意アラシコトヲ希望スルノデアリマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○鶴澤委員 私モ議事ノ進行ニ付テ一言致シマス、中西君ハ議事ノ進行上、都合ニ依ッテハ質問ノ打切りヲスルカモ知レナイト云フ仰セデアリマシタカラ、万一中西君ノ御意見ノ實現サレルト云フ場合ニアリマシテハ、私ハ斯ノ如キ大問題ヲ議スルニ當リマシテ、國家ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ吾々ハ十分慎重審議ヲ盡シテ、而シテ事ノ間違ナカムコ

トヲ祈テ已マヌモノデアリマス、而シテ昨年既ニ吾々が賛成致シタモノデアリマスルカラ、惟フニ多分賛成スルデアラウガ、或ハ反對スルカモ知レナイガ、其審議スル所ノ事ハ少イデアラウト、斯ウ仰シヤルデアリマスケレドモ、本員ハソレト大反對ナノデアリマス、何故サウデアアルカト云ヘバ、昨年ハ唐突ノ提出デアリ、十分吾々ハ審議スルノ餘暇モナカッタデアリマス、同時ニ地方ノ選舉區ノ區民ハドウ云フ考ヲ持ッタカト云フト、此敷設案ヲ以テ直ニ鐵道ガ敷設サレモデアアルト誤認シテ居タルデアリマス、其結果ヨリシテ地方民ヨリハ電信ニ、電話ニ、或ハ委員ガ上京シテ議員間ヲ訪問ヲシテ、敷設案ノ通過ニ努メラレタノデアリマス、吾々ハ常ニ民意ヲ尊重シテ居ルデアリマス、又地方民ノ懇請默シ難イト云フコトモアリマシテ、此案ニハ所謂大々的ノ警告ヲ與ヘテ賛成ヲ致シタイト云フコトハ、中西君ノ仰シヤル通りノ事實デアリマス、諸君、サリナガラ其後衆議院ガ通過致シマシテ、貴族院ニ至リマシテドウデアリマスケレドモ、即チ質問應答ヲ重ネルコト大分ニ長カッタデアリマス、而モ議了スルニ至ラザル其間ニ於キマシテ、吾々ハ此政府ト貴族院諸公トノ質問應答ニ於ケル所ノ場合ニ於キマシテ、疑議ノ數數ヲ發見致シタノデアリマス、又此案ニ反對スベキコトモ發見致シタノデアリマス、尙且ツ爾來一年ノ長イ月日ノ間ニ於キマシテ、吾々ハ此本問題ニ付キマシテハ、再ビ提出セラレル場合ノ用意ト致シマシテ、大ナル研究ヲ重ネ、大ナル調査ヲ進メタル結果ト致シマシテ、疑議ガ數々アルデアリマスケレドモ、此結果ト致シマシテ、茲ニ吾々ハ今日質問ニ質問ヲ重ネテ居ルコトモ、即チ國家ニ忠ナル所以デアリマス、此意味ニ於キマシテ此質問ヲ打切ラントスルニ至ッテハ、甚ダ國家國民ニ對スル不親切此上ナイ事デアルト思ヒマスカ、吾輩ハ若モ此提議ヲサレトスルナラバ、如何ナル事ニ於テモ反對ヲシナケレバナラヌデアリマス、ソレデアリマスケラ、豫メ中西君ニ御酬ヒテ致シテ置キマス、是ヨリ更ニ質問ヲ致シマス

○富安委員長 鶴澤君、兩大臣ガ御出デニナッテ居リマスケラ、兩大臣ニ對スル質問ヲ—— 遞信大臣ト内務大臣ニ

○鶴澤委員 ソレデハサウ致シマス、ソレハ簡單明瞭デアリマス、野田サンガ先ニオキデニナッテヤウデスカ、遞信大臣ニ先ニ質問致シマス、先程鐵道大臣ニ私共ヨリ質問致シマシタ、演說中ニオキデニナッテカラ、半分ハ御聽取ニナッテカモ知レマセケレドモ、先般來華府會議ニ於テ、四國協約ガ成、タノデアリマシテ、洵ニ平和ハ此間ニ告ゲラルル事ニナッタノデアリマスケレドモ、吾々國民ト致シマシテハ、治ニ居テ亂ヲ知ラナクナラバ、何時如何ナル事ガ國ト國ト間ニ勃發スルカモ知レナイデアリマスケラ、即チ相當ニ之ニ對スル考ヲ持タナケレバナラヌ、而モ英米ノ十、十二對スル我ノ六ト云フ軍艦ノ防備ノ結果デアリマス、七ヲ主張致シマシテモ、遂ニ我ノ主張ハ徹底セズシテ、六ニ讓歩ヲシナケレバナラナカッタト云フコトハ、所謂遞信大臣ト共ニ、私共甚ダ遺憾トスルデアリマス、此場合ニ於キマシテ、如何ナル方法ヲ以テ、有事ノ二備ヘル、他ノ良方法ハ無カラウカト云フコトハ、是ハ御五ニ國民トシテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ漁業者デアリマスガ、漁船ヲ大ニ擴張シテ政府ガ保護シテ獎勵シテサウシテ大ニ漁船ヲ此沿岸周圍ニ置キ、傍ラ漁業ヲサセ、サウシテ有事ノ日ニ備ヘシムルモノ一ツノ便法デアラウ、又一ツニハ交通上ノ便利ヲ圖ル上ニ於キマシテ、政府ガ相當ノ獎勵ヲシテ、高速力ノ即チ最モ速力アル所ノ汽船ヲ各港ニ寄港サセテ、而シテ此運輸ノ途ニ備ヘタナラバ、一面ニハ産業發達ノ先驅トモナリ、又文明ノ利器ヲ促進セシムル好手段デアルト斯ウ思ヒマスガ、是等ノ考ハ、遞信大臣ト致シマシテ、今日ヨリ御持チニナッテ居リマセウガ、或ハ既ニ御計畫ヲサレテ居ルデアラカ、之ニ對スル御意見ヲ一ツ承リタイデアリマス

○野田國務大臣 此度海軍ノ縮小ニ依ル海軍ノ縮小ニ依ル五、五、三ノ率ニ付テ、甚ダ遺憾デアラカ、之ヲ補足スル爲ニ云々ト云フコトデゴザイマスガ、是ハ平和會議ニ對シテ、斯ノ如キ意ヲ含シテ船ヲ造ルコトデハナイデスケレドモ、遞信省ニ於キマシテハ、直接主管ノ造船所デス、此造船所ヲ維持セントスレバ、船ヲ造ラナケレバナラヌ、船ヲ造レバ、之ヲ運航スル方法ヲ立テネバナラヌ、第一此造船所ヲ維持セネバ、直ニ職工ガ職ヲ失フ、是ガ造船所トシテ最モ憂フル所デゴザイマスガ、又日本ニ造船所ト云フモノハドウシテモ維持シテ置カナケレバナラヌ、島國デナル以上ハ、此造船所ヲ何處デモ保持シナケレバナラヌト思ッテ居リマス、將來如何ニシテ之ヲ保持スルカト云フコトハ、未ダ定マッテ居リマセケレドモ、當局大臣ト致シマシテハ、ツイ此頃海事委員會ヲ開キマシテ、其中ノ専門家ノ少數、所謂小委員會ヲ作りマシテ、略、調ベテ居リマスケレドモ、鶴澤君ノ言ハル、ヤウナ、此内地ノ運用、鐵道ニ代ルベキ云々ト云フコトハ、自然ニハナリマスケレドモ、ソレバカリガ趣意デアアリマセヌ

○鶴澤委員 鐵道ノ事ハ言ヒマセヌ(答ヘル必要ナシト呼フ者アリ)

○野田國務大臣 先ヅ一通リ答ヘマス、日本ノ船舶ノ噸數デ申シマスガ、昨日此處ニ御座ル正木君ヨリ御話ガアリマシタガ、日本ノ汽船デ、一千噸以上ノモノガ先ヅ三百以上ニナッテ居リマスガ、三百トシマシテ、日本ノ沿岸ニ使フ船ハ五十噸六分ノ一シカ沿岸ニ使フ船ガアリマセヌ、荷物ガアリマセヌ、而モ劣等ノ船デス、ソレデアラカ、將來此海軍ヲ縮小シマシテ、十一年度位ナ仕事ハアルカモ知レマセヌガ、來年カラ造ルト云フコトニスレバ、大小ノ船ヲ澤山造ラナケレバナラヌ、ソレデ主ニ調ベテ居ル所ハ、外國ニ手ヲ延バスト云フコトデアル、沿岸ノハ無論要ル船ハ廻シマスガ、内地ノ沿岸トシテハ、サウ餘地ハアリマセヌ、ソレカラ「トロール」船、此事モ海軍ノ調ベニ出テ居リマスケレドモ、是ハ私ノ主管デアリマセヌ、運輸スル所ニ依レバ、農商務省ノ方ニナリマス、遞信省ハ甚ダ素人デ分リマセヌ、併シ船ハ造テ居ル、造船所デハチャント調ベテ居リマス、私ノ方ノ造船部デハ、漁船モ造ルコトニシテ居リマス、漁船位デハ到底七十萬噸モ造ル造船所ガ、之ヲ充タスト云フコトハイケマセヌ、是レモ漏ラシテハ致シマセヌ、是モ相成ルベクハ造テ貰フ方ガ宜イ、一通リ調ベテ居リマスガ、斯ノ如キ次第デゴザイマスガ、若シ其鐵道ニ代ルニ船舶ト云フコトデアレバ、私ノ方ノ議論ハ甚ダ薄弱デアリマスガ、念ノ爲ニ申シテ置キマス

○鶴澤委員 私ノ遞信大臣ニ問ヒマシタノハ、此周圍ノ——即チ他所ノ航海ニ用ヒマス云フコト、所謂鐵道ト水トノ聯絡上變化ガ起ラウト思フカラ、其御計畫ニ依リマシテハ、此敷設案ニ影響スル所アリト信ジマシタガ爲ニ、御問致シマシタノデアリマスケラ、他ノ事ヲ進シテ御聽キ申ス譯デモナイノデアル、植原君モ實ハ遞信大臣ニ御尋ヲ致シタイト云フ事デアリマスガ、生憎只今居リマセヌカラ、私ハ遞信大臣ニ對スル御問ハ是デ打切ルデアリマス、内務大臣ガ御出デガアリマシタニ付キマシテ、私ノ御問ヲ申シタイノハ、先程來植原君及正木君ヨリ御質問ヲ申シマシタ所ノ、矢張自動車問題デアル、自動車ハ我國ノ今日ノ趨勢デモ非常ナ増加ヲ呈シテ居リマス、又文明ノ利器トシテ、此自動車モ今日ノ如キ有様デ居ルト云フコトハ、今後益々増加スベキコトデアルト思フ、此自動車ノ利用ノ事ハ、多ク今日ハ都市ニ限ッテ居ルヤウデアルケレドモ、是ハ何デアアルカト云フト、常ニ不便ヲ感ジテ居ルコトハ、田舎ノ者ハヨリ多ク自動車ノ必要ヲ感ジテ居ラウト思フ、然ルニ此田舎ノ人ガ、此必要ナル所ノ自動車ヲ利用スルコト能ハザル原因ハ何デアアルカト云フト、申ス迄モナク道路ノ粗惡ナル結果、此利器ヲ利用スルコト能ハザルコトヲ、私ハ地方ノ爲ニ遺憾トスルデアル、又國家ノ爲ニ遺憾トスルデアリマス、既ニ道路會議ナルモノガアッテ、著々ト此等ノ道ニ向ッテモ、其改修ノ歩ヲ進メツ、アルト云フコトハ、私モ承知シテハ居リマスケ

レドモ、此道路會議ノ結果、及内務省ノ執ル所ノ方針ガ何處ニ在リマスカ、私ガ竊ニ思フニ、鐵道ノ必要ナルコトハ、元田鐵道大臣ハ事毎ニ仰シヤルケレドモ、吾モ亦元田大臣ト共ニ此鐵道ハ一日モ早く速成ヲ希望スルコトハ勿論デアル、吾モハ此百四十九線ノ鐵道ガ、若シモ此豫算ガ玆ニ附イテ居テ、完全ナルモノデアルトスルナラバ、賛成スルコトハ決シテ躊躇セヌデアル、恐クハ我輩一人デハアリマスマイ、憲政會代議士ハ、恐ラク一人デモ反對スル者ハアルマイト思ヒマスガ、此豫算ノ伴ハザル所ノ不備ナル所ノ敷設案トシテハ、餘程考ヘ物デアルト云フノガ吾モノ意見ナノデアリマス、ソコデ此賛否ヲ決スルニ當リマシテ、即チ道路交通政策ノ何レニ在ルカ、又如何ナル程度ニ進メルノデアルカ、自動車ヲ以テ足リル所ハ自動車ヲ自動車ヲ以テ足ラシテモ、先以テ今日急務ノ補ヒトナスコトガ出來得ルデヤナイカト云フコトハ是ハ何人モ考ヘナイ者ハナカラウト思フ、此敷設案ヲ決メマスニ於キマシテハ、道路政策トシテ質問スルコトハ、強チ無用ナ事デハナカラウト思フ、恐ラク政友會ノ諸君ニ於テモ、此質問ニ向テハ御異議ハナイト思ヒマスカラ、此御質問スルノデアリマス、ドウゾ懇切ナル御答辯ヲ與ヘラレシコトヲ御願ヒ致シマス

○床次國務大臣 御答致シママスガ、敷設法ニ依テ鐵道ノ敷設サレコト、道路法ノ計畫トハ兩々相待テ益、其効用ヲ發揮スルモノト思ヒマス、御話ノ如ク自動車ガ將來發達スレバ其方ト聯絡ヲ取テ交通上宜カラウト思ヒマス、決シテ相俾ル所ハアリマセヌ

○鶴澤委員 今日ハ是デ打切ニナリマスガ

○富安委員 今日ハ是ダケニシタイト思ヒマス

○元田國務大臣 私ハ此場合ニ於キマシテ、唯今鶴澤君カラ此鐵道敷設法案ハ豫算ガ伴テ居レバ吾モ總テ賛成スルノデアルガ、豫算ガ伴テ居ラヌト云フ疑懼ヲ抱イテ居ルカラ、賛成シナイトノ御言明デアリマシタガ、豫算ガ伴テ居レバ賛成スルト云フ御趣旨ニ對シテハ、誠ニ満足ニ存ジマス、併ナガラ是ハ鐵道計畫ノ綱ヲ造ルノデアリマスカラ、綱ヲ造ルニ付テハ既ニ豫算ガ伴ヘバ賛成スルマデノ御決心ガアルナラバ、綱トシテ將來ノ計畫ヲ樹立シテ置ク點ニ付テ、唯今ノ計畫ニ御賛成ニナルヤウニ希望ヲ述ベテ置キマス

○富安委員 今日ハ是デ散會致シマス

午後四時五分散會